

令和3年度使用
中学校用教科用図書選定のための資料

岩手県教育委員会

調査票 1		種目名 (国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	「学びを支える言葉の力」を設けて、3領域の学習を支える基礎的・汎用的な言葉の力を育成できるよう配慮されている。	「読み方を学ぼう」を設けて、習得すべき知識及び技能を、図解を交えて可視化し、生徒が学習できるよう配慮されている。	巻末折込で「表現に役立つ言葉」を設け、表現の基盤となる語彙や情報の扱い方を習得できるよう配慮されている。	巻末資料に「学習のための用語一覧」を設け、習得すべき知識及び技能を身に付けられるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	「学びの扉」や教材冒頭の問いかけで課題意識を引き出し、「言葉の力」に示されているポイントを自覚しながら学びを深められるよう配慮されている。	各学年の初出の説明文教材では、指導事項に合わせた読み方を身に付けさせるためのプレ教材を配置し、生徒が本教材で活用できるよう配慮されている。	教材冒頭の「学びナビ」で学習内容や学習方法を焦点化して示し、課題解決における思考・判断・表現のよりどころとなるよう配慮されている。	巻頭の「思考の地図」で思考の仕方を具体的に示し、学習で身に付けた言語能力を活用し、思考力・判断力・表現力等を育めるよう配慮されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各単元の「てびき」で「目標」「たすけ」「振り返り」を設定し、生徒が課題意識をもちながら言語活動を遂行できるよう工夫されている。	領域に応じて「目標」「学習の流れ」「学びの道しるべ」「学びを広げる」を設定し、生徒が見通しをもって学習を行う工夫がされている。	「学びナビ」により知識及び技能の習得を図るとともに、「学びのチャレンジ」により身に付けた資質・能力を活用できるよう工夫されている。	「学習」では、学習過程、既習事項、情報整理の方法、学びを生かせる場面を見開きで示し、見通しをもち段階的に学習を進められるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	指導事項を焦点化するとともに、文章の書き方や内容を重ねて読む単元を設定し、思考を活性化して目標が達成できるよう工夫されている。	各学年の第1単元に「グループディスカッション」を配置し、話し合いの方法を系統的に学習することで、言語活動を充実できるよう工夫されている。	表現に関する教材で、活動の見通しや重点、モデル、表現のポイントを示し、言語活動を充実させ、目標が達成できるよう工夫されている。	学習内容を関連付けた言語活動を通して、知識及び技能の習得を目指し、生徒が他の教材や場面でも活用できる力を身に付けられるよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	他教科等や実生活への関連を図る「つながる・広がる」を設定し、生徒が身に付けた力を様々な場面で活用できるよう工夫されている。	他教科等の学習内容や、日常の言語生活との連携を図り、身に付けた力が他教科や実生活において幅広く活用できるよう工夫されている。	他教科等の学習内容や実生活と関連のある教材を配置し、「学びを生かそう」で身に付けた力を効果的に活用できるよう工夫されている。	「つなぐ」の欄を設けることで、話題や題材が他教科等と関連付けられ、生徒が身に付けた資質・能力を教科横断的に活用できるよう工夫されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	全学年で共通の単元配列とし、領域間でも関連をもたせながら、系統的・段階的に身に付けたい資質・能力を育成できるよう工夫されている。	知識及び技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る単元を偏りなく配置し、身に付けたい資質・能力が育成できるよう工夫されている。	知識及び技能や思考力・判断力・表現力等を関連付けて、単元の中に複数の教材を位置付け、効果的に学習計画が組み立てられるよう工夫されている。	学年内・学年間を見通して系統的・段階的に教材が位置付けられ、習得・活用を繰り返しながら身に付けたい資質・能力を育成できるよう工夫されている。

調査票 1		種目名 (国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	学校生活や地域での生活に関連した教材を通して、時宜になかった学習ができるよう工夫されている。	学校生活や社会生活に関連する教材を配置し、興味をもちながら学習できるよう工夫されている。	季節に関連した教材を効果的に配置し、生徒が季節感を感じながら学習できるよう工夫されている。	季節の風物を描いた韻文を配置し、季節感や語感を楽しむことができるよう工夫されている。
	3	内容と分量のバランスについて	「本編」、「基礎編」、「資料編」の構成とし、それぞれに関連付けながら、発展的・補充的に学習できるよう工夫されている。	巻末に、実践的知識や学び方を示す資料を配置し、本編と関連させながら自学で活用できるよう工夫されている。	テーマごとに複数の教材を配置し、知識及び技能と思考力・判断力・表現力等を偏りなく育成できるよう工夫されている。	SDGsに関連する教材を通して、生徒が視野を広くもち、自分の考えを深めながら学習できるよう工夫されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	各単元の「てびき」の中で「言葉の力」を端的に示し、生徒が理解しやすいよう配慮されている。	「振り返りのキーワード」を明示し、身に付けた言葉の力を自覚できるよう配慮されている。	「みちしるべ」の中の「言葉と表現」で、学習内容を補足し、生徒が理解しやすいよう配慮されている。	各単元の「学習の窓」で学習内容を端的に示し、生徒が理解しやすいよう配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	教材冒頭にイラストや吹き出しを配置し、学習に興味をもてるよう配慮されている。	「思考の方法」でイラストや記号、吹き出しを用い、思考・判断・表現しやすいよう配慮されている。	関連する写真を複数掲載し、学習意欲を喚起するとともに理解を促せるよう配慮されている。	教材文に対応させて思考ツールや写真、図表等を掲載し、視覚的に理解を促せるよう配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末で語彙表や学習用語一覧を示し、教材と対応させて活用できるよう配慮されている。	巻末に「学習用語辞典」を配置し、関連の深い教材と対応させて活用できるよう配慮されている。	巻頭で教科書の使い方や学習内容を示し、年間の学びを見通せるよう配慮されている。	巻頭で年間の学習内容や思考方法を折込形式で示し、学習の見通しをもてるよう配慮されている。
	総合 所見	各学年及び各領域の学習内容が、系統的・段階的・有機的に配列され、資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。 また、教材冒頭の問いかけにより、生徒が課題意識をもって主体的に学習できるよう配慮されている。	生徒の必要感に合わせて、学習内容や学習過程を示したり、プレ教材を配置したりし、見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 また、各単元の見開きや巻末資料により、自学できるよう配慮されている。	教材冒頭で学習内容や学び方を示し、解決の見通しをもって言語活動を遂行できるよう工夫されている。 また、多様な資料を関連付けて読み、自分の考えを表現する場を設定し、身に付けた力を活用できるよう配慮されている。	学習過程や学習内容、活用場面等を見開きで示し、日常生活に役立つ力として身に付けられるよう工夫されている。 また、課題意識が喚起される教材や思考の可視化を通して、学びが深められるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (書写)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	系統的に整理した学習事項を各単元に焦点化して配置し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	字形例について、書き方のポイントを言葉と図で解説し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	筆の動きや筆使いへの理解を体感的に深める教材を配置し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	学習のポイントを明確に示し、硬毛との関連を図りながら、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	身近な活動を題材にした実生活で活用できる単元を各学年に配置し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	単元で学習してきたことを総合的に生かして書く課題が設定され、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	国語と連携した言語活動を設定し、学習事項を活用させることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	身に付けた書写の力を、国語や学校生活に生かす教材が配置され、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	単元末では、学んだことを対話的な活動を通して振り返らせ、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	本時の学習内容を明確に示し、他の文字に活用させることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	課題や学習方法を選択する教材や学習場面を設定し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	課題解決の見通しをもつための学習の進め方を明確に示し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	国語との連携を図り、言語活動と関連する教材を取り上げ、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	1年間の学習を生かした言語活動を位置付けた教材を配置し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	学習したことを日常生活で活用する教材を単元末に配置し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	書写で身に付けた力を日常生活で生かせる発展教材を配置し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	現代的な課題に対応した題材を活用する単元や巻末の様式で取り上げ、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。	全国の都道府県名や身の回りの文字を題材にした教材を設定し、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。	各教科の書く活動と連動させた教材や実生活で活用できる題材を設定し、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。	学校生活や日常生活に生かすことができる教材を取り上げ、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	書写で学ぶ知識及び技能を系統的に整理し、学年に応じて重点化を図り、螺旋的に学習できるよう構成が工夫されている。	校種間の接続を考慮して内容を整理したり、発展的な教材を設定したりするなど、系統的に学習できるよう構成が工夫されている。	発達段階を踏まえて教材を配列するなど、身に付ける力を系統的・段階的に見通せるよう構成が工夫されている。	基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を繰り返しながら、段階的に学習できるよう構成が工夫されている。

調査票1		種目名 (書写)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	年賀状や書き初め、古典作品を書いて味わう教材を設定し、季節と関連付けて興味・関心を高めるよう工夫されている。	便箋や封筒、はがきの書き方とともに、時候の挨拶の例を示し、季節と関連付けて興味・関心を高めるよう工夫されている。	季節の行事、短冊と色紙、日本建築等を取り上げ、季節と関連付けて興味・関心を高めるよう工夫されている。	古典の作品や短歌・俳句を書いて味わう活動を設定し、季節と関連付けて興味・関心を高めるよう工夫されている。
	3	内容と分量のバランスについて	硬筆文字を導入に用い、課題を設定することで、授業の中で効果的に学習ができるよう配慮されている。	毛筆学習で習得したことを硬筆で確かめることで、単元内で効果的に学習できるよう配慮されている。	硬筆と毛筆の学習を関連させ、学習内容の定着を図ることで効果的に学習ができるよう配慮されている。	1教材1事項で構成し、学習のねらいが焦点化され、効果的に学習ができるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	気付かせたい視点等についてキャラクターの吹き出しを用い、分かりやすく説明されている。	課題の提示やまとめでは勧誘・問いかけの表現を用い、分かりやすく説明されている。	運筆方法が分かるように、淡墨図に適切な書写用語を用い、分かりやすく説明されている。	学年に応じて段階を設けながら学習活動を簡潔に示し、分かりやすく説明されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	行書を書く時の動きをパターン化して示すことで、運筆方法が分かりやすく説明されている。	見開き完結のレイアウトになっており、学習の流れが視覚的に捉えやすいよう工夫されている。	行書の特徴について、淡墨図にアイコンで示すことで運筆方法が分かりやすく説明されている。	半紙原寸大の毛筆教材に朱墨の分解文字を加え、穂先の動きを視覚的に捉えやすいよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末に、目的に応じて選択できる様々な様式を示し、日常生活で活用しやすいよう配慮されている。	巻末に、毛筆の補充教材を示し、各単元での学習内容が確かめやすいよう配慮されている。	巻末の楷書体と行書体の漢字一覧表を校種別にまとめており、字形等を確かめやすいよう配慮されている。	別冊の硬筆練習帳で繰り返し学習することで、毛筆での学習内容が確かめやすいよう配慮されている。
	総合所見	系統的に整理した学習事項を各単元に焦点化して配置し、課題解決型の単元展開を通して知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 また、目的に応じて選択できる様々な様式を示し、日常生活で活用しやすいよう配慮されている。	本時の学習内容を明確に示し、他の文字に活用させることで、主体的に学習に取り組みながら、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 また、見開き完結のレイアウトで、学習の流れが視覚的に捉えやすいよう工夫されている。	課題や学習方法を選択する教材や学習場面を設定し、主体的に学習に取り組みながら、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 また、淡墨図に行書の特徴をアイコンで示し、適切な書写用語を用いて分かりやすく説明されている。	学習のポイントを明確に示し、硬毛の関連を図りながら、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 また、シンプルな紙面で、半紙原寸大の毛筆教材に朱墨の分解文字を加え、穂先の動きを視覚的に捉えやすいよう工夫されている。	

調査票1		種目名(社会(地理的分野))				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	帝国(46)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	1単位時間を「導入・学習課題・本文・チェック＆トライ」の流れで構造化したり、「スキル・アップ」を設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得が図られるよう工夫されている。	1単位時間の活動の最後に、学習内容をまとめる「確認」のコーナーを設けたり、適宜「地理の技」のコーナーを設けたりすることで、基礎的・基本的な知識の定着や技能の習得が図られるよう配慮されている。	1単位時間を「導入資料」を中心に「学習課題・本文・確認しよう」の流れで構造化したり「技能をみがかく」コーナーを設けたりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	1単位時間で習得する資質・能力を明確に示して構成された「導入資料・学習課題・確認」の流れと、「スキルUP」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	単元のまとめの活動では、ウェビング図やトゥールミン図などの思考ツールを活用して、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	1単位時間ごとに設定された「表現」のコーナーや、適宜「読み解こう」のコーナーが設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	1単位時間や1單元ごとに言語活動を充実させるための「説明しよう」のコーナーが設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	各ページに「深めよう」のコーナーや、単元末に「アクティビティ」などのコーナーが設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各単元が「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」の3段階の構造的な「問い」を軸にして、課題解決的な構成となっていることで、主体的な学習活動を行えるよう工夫されている。	章・節の学習を見通す導入や、振り返りのための「学習のまとめと表現」のほか、見開きごとに「学習課題」「確認」を設定することで、主体的な学習活動を行えるよう配慮されている。	章の初めの「序説」で見通しを立て、各節にある「節の学習を振り返ろう」で、学習で得た知識をもとに地理的な見方・考え方を働かせながら、主体的な学習活動を行えるよう工夫されている。	世界の諸地域や日本の諸地域の学習では、各単元とも「クイズ」、「宣言コーナー」、「見方・考え方コーナー」、「アクティビティ」で構成されており、主体的な学習活動を行えるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	単元の導入部に見方・考え方コーナーを設けたり、まとめの活動の中で単元の探究課題を振り返ったりすることで、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	巻頭で地理的な見方・考え方を明示したり、各見開きには表現コーナーを設けたりすることで、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	巻頭で地理的な見方・考え方を明示したり、単元末に模式図を活用して学習内容を整理させたりすることで、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	各見開きに見方・考え方コーナーを設けたり、単元末には思考ツールを体系的に示したりすることで、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「教科関連マーク」を示して他の教科等との関連を図るとともに、「分野関連マーク」を明示することで他分野との関連が図られるよう工夫されている。	「地理の窓」において他の教科等との関連を図るとともに、「関連」マークが示されるなど他分野との関連が図られるよう工夫されている。	「未来に向けて」において他の教科等との関連を図るとともに、本文下段に関連用語が提示されるなど他分野との関連が図られるよう工夫されている。	特設ページにおいて他の教科等との関連を図るとともに、本文下段に連携コーナーを設けるなど他分野との関連が図られるよう工夫されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	単元全体を貫く問いを軸にして、3段階に構造化された単元構成によって課題解決的な学習が展開できるよう配慮されている。	世界と日本の地誌学習に重点を置き、章や節の導入に明示した学習の見通しによって学習が展開できるよう配慮されている。	単元を貫く問いを明示して、各見開きや単元末における問いの構造化により課題解決的な学習が展開できるよう配慮されている。	世界や日本の諸地域学習の構成を統一し、見通しをもって地域的特色を捉えようとする学習が展開できるよう配慮されている。

調査票1 種目名 (社会 (地理的分野))

観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	帝国(46)	日文(116)
2 組織 配列 分量	2 季節、社会的行事等、地域 の実情との関連付けにつ いて	地域に関連して、釜石市 や宮古市の復興・防災の取 組を取り上げたり、東北地 方の学習に関連して、宮古 市や盛岡市、田野畑村、岩 手町の写真を取り上げたり して、身近な社会的事象と して学習出来るよう配慮さ れている。	地域に関連して、釜石市 の復興・防災の取組を取り 上げたり、東北地方の学習 に関連して、盛岡市、大船 渡市、一関市、田野畑村の 写真を取り上げたりして、 身近な社会的事象として学 習できるよう配慮されてい る。	地域に関連して、宮古市 や陸前高田市の復興・防災 の取組を発展的な学習に位 置付けたり、盛岡市や宮古 市、大船渡市、滝沢市の写 真を取り上げたりして、身 近な社会的事象として学習 できるよう配慮されている。	地域に関連して、宮古市 や陸前高田市、釜石市の復 興・防災の取組を1単位時間 の学習に位置付けたり、田 野畑村や普代村、盛岡市の 写真を取り上げたりして、 身近な社会的事象として学 習できるよう配慮されてい る。
	3 内容と分量のバランスにつ いて	見開き2ページで1単位時 間の学習内容が構成され、 大判の資料を掲載してい る。また、現代的な諸課題 についても年間を通して学 習できるように学習内容と 分量のバランスが配慮され ている。	見開き2ページで1単位時 間の学習内容が構成され、 豊富な資料を掲載してい る。また、諸地域学習で は、節による時間数に軽重 をつけて学習を進めるよう に学習内容と分量のバラ ンスが配慮されている。	見開き2ページで1単位時 間の学習内容が構成され、 大判の資料を掲載してい る。また、年間を通して持 続可能な発展を考える学習 ができるように学習内容と 分量のバランスが配慮され ている。	見開き2ページで1単位時 間の学習内容が構成され、 豊富な資料を掲載してい る。また、年間を通して学 びを日々の生活に生かせる 学習ができるように学習内 容と分量のバランスが配慮 されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語 句や文章による表現につ いて	平易な表現を用いて丁寧 に説明している。また、教 育漢字外の漢字には、繰り 返し振り仮名を付すなど生 徒が読み取りやすくなるよ う配慮されている。	巻末に用語解説を設ける だけでなく、難解な用語 や補足説明の必要な箇所 には、側注も設け、生徒が 読み取りやすくなるよう配 慮されている。	難解な漢字や地名などの 固有名詞、地理用語には適 宜ふりがなが付されてお り、平易な表現で生徒が読 み取りやすくなるよう配慮 されている。	平易な表現を用いて丁寧 に説明している。また、一 つの文章が短く端的にまと められ、生徒が読み取りや すくなるよう配慮されてい る。
	2 分かりやすさに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記につ いて	資料部分の背景に色を付 けて本文と区別し、複数の 資料を比較できるように配 置することで、分かりやす いよう工夫されている。	多様な写真や地図などを 大きく表記し、視覚的に捉 えやすく配置することで、 分かりやすいよう工夫され ている。	大きく多様な写真やイ ラストを多く使用し、学習 内容をイメージできるように することで、分かりやすい よう工夫されている。	単元を通して資料の大き さや配置を共通の体裁にし 、比較や関連付けができる ようにすることで、分かり やすいよう工夫されている。
	3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使いやすさへ の配慮について	各節の巻末にQRコードや URLを表記し、他教科や他分 野との関連を紹介すること で、生徒が理解しやすいよ う配慮されている。	章・節の巻頭ページQR コードやURLを表記し、関係 するウェブページにリンク させ、生徒が調べやすいよ う配慮されている。	「技能をみがく」ページ にQRコードを表記し、関連 する動画や写真にリンクさ せ、生徒が理解しやすいよ う配慮されている。	巻頭ページにQRコードを 表記し、まとめのページと 関係する写真や関係機関と リンクさせ、生徒が調べや すいよう配慮されている。
総合 所見	単元全体を貫く問いを軸 にして内容に関連性をもた せて構造化し、主体的に課 題解決的な学習に取り組め るよう工夫されている。 また、QRコードを設けて 他分野や他教科との関連 ページなどを活用し、理解 を深めるとともに、単元末 の多様な思考ツールによる まとめにより、思考力・判 断力・表現力等が身に付く よう配慮されている。	資料の配置を工夫するこ とにより、興味・関心を引 き出し、主体的に課題解決 的な学習を展開できるよう 工夫されている。 また、多くのコラムを設 けて多様な視点から学びを 深めるとともに、学習のま とめと表現ページを設けて 学習の振り返りを行うこと により、思考力・判断力・ 表現力等が身に付くよう配 慮されている。	大判で見やすい写真を豊 富に用いて興味・関心を引 き出し、主体的に課題解決 的な学習に取り組めるよう 工夫されている。 また、QRコードを設けて 動画や写真などを活用し、 学びを深めるとともに、資 料作成や活用の技能を高め るページを設けることによ り、基礎的・基本的な知識 及び技能の習得が図られる よう配慮されている。	単元の導入ではクイズを 設けて興味・関心を引き出 し、主体的に考えることを 促して学習に取り組めるよ う工夫されている。 また、各ページにある地 図の大きさを揃え、比較し ながら理解を深めるととも に、重要用語を確認するま とめを設けることにより、 基礎的・基本的な知識及び 技能の習得が図られるよう 配慮されている。	

調査票 1 種目名 (社会 (歴史的分野))

観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	帝国(46)	山川(81)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	学習内容を理解するための活動を具体的に示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	節を捉えるキーワードについて説明する活動を示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	大切な事項を本文から書き出す活動を示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	本文に関わる資料を読み取る視点を具体的に示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	学習の理解を確かなものにするための問いを示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	章末において思考ツールを用いたまとめを行う場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	章末において資料から時代の変化を考える場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	章末において時代の特色とその根拠を説明する場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	章末において視点や立場ごとに表にまとめる場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	章末において視点に基づいたまとめを行う場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	章の導入で、資料や年表を読み取りながら探究課題を立てる活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	章の導入で、学習内容をイメージできるような資料を読み取る活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	章の導入で、イラストから学習内容と関連する場面を探す活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	章の導入で、年表や写真を基に時代の流れを大まかにつかむ説明文を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	章の導入で、前の時代からの変化に関わる資料を読み取る活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	歴史的な見方・考え方を働かせる場面を複数設け、その具体を明示することで、見方・考え方を意識しながら課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。	歴史的な見方・考え方を働かせるための方法を確認し、章末でその時代を大観して特色を表現させるなど課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。	冒頭で歴史的な見方・考え方について概観した上で、章末で時代の特色を理由とともに説明させるなど課題を追究したり解決したりする活動が展開できるよう配慮されている。	各所に歴史的な見方・考え方に着目した課題や発問を付して、社会的事象について、課題を追究したり解決したりする活動を通して捉えることができるよう配慮されている。	授業時間ごとの学習課題と解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方を示すことで、見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校での学習を振り返るとともに、他教科や他分野における学習内容との関連を示し、系統的かつ多面的・多角的な学習が展開できるよう工夫されている。	小学校で活用した見方・考え方を想起した上で、中学校の学習の進め方・方法を確認したり、他分野の学習との連携を図ったりできるよう工夫されている。	小学校の学習内容を確認したり、他分野における関連用語を提示したりすることにより、学習活動をスムーズに行えるよう工夫されている。	小学校で学んだ人物などを踏まえて学べるような記述にするとともに、高等学校で扱う資料を理解しやすい形で示し、スムーズに学べるよう工夫されている。	小学校で学んだことを再確認し、中学校の学習にスムーズに移行できるようにするとともに、関連する他分野での内容を確認できるよう工夫されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	章の構成を、導入の活動→本文・特設ページ→基礎・基本のまとめ→まとめの活動とし、まとめの活動で、その時代の特色をつかむことができるよう配列が工夫されている。	章の構成を、とびら／導入ページ→本時／特設ページ→学習のまとめと表現ページとし、前後の時代の変化に着目させながら、章の学習をつないでいけるよう配列が工夫されている。	章の構成を、章・節の始めに→本文ページ→章・節の最後にとし、見直しから振り返りまでの流れを明確にすることで、主体的な学習がなされていくよう配列が工夫されている。	章の構成を、章扉(帯年表と図版の読み取り)→本文ページ→章まとめページ(復習確認)とし、章全体を通して、時代の流れを理解することができるよう配列が工夫されている。	編の構成を、導入ページ→本文ページ→チャレンジ歴史→学習の整理と活用とし、編の途中に発展学習を組み込むことで、学習活動の充実が図られるよう配列が工夫されている。

調査票 1		種目名 (社会 (歴史的分野))					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教出 (17)	帝国 (46)	山川 (81)	日文 (116)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	蝦夷の抵抗、奥州藤原氏、中尊寺金色堂、東日本大震災など地域素材として活用できる事象が本文やコラム写真で取り上げられている。	阿弋流為の戦い、奥州藤原氏、三閉伊一揆、後藤新平、原敬など地域素材として活用できる事象が本文やコラム写真で取り上げられている。	金取遺跡の打製石器、蝦夷と東北支配、奥州藤原氏、宮沢賢治など地域素材として活用できる事象が本文やコラム、写真で取り上げられている。	「地域からのアプローチ」として、平泉の文化について見開き2ページで中尊寺金色堂、無量光院、螺鈿装飾などが取り上げられている。	奥州藤原氏、中尊寺金色堂、災害の記憶継承としての地震津波碑など地域素材として活用できる事象が本文や写真で取り上げられている。
	3	内容と分量のバランスについて	分野における大項目及び中項目がバランスよく取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。	分野の導入部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。	分野の導入と近世の部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。	古代の部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。	古代とまとめ部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	本文は、重要語句を多めに設定して太字で表すとともに、歴史的事象の因果関係や意味・意義に留意しながら、平易な文章で分かりやすく記述されている。	本文は、重要語句を精選して太字で表すとともに、歴史的事象の概略が読み取れるよう、平易かつ簡潔な文章で、分かりやすく記述されている。	本文は、重要語句を多めに設定して太字で表すとともに、歴史的事象の因果関係や社会的背景に留意しながら、平易な文章で具体的に記述されている。	本文は、重要語句を多く設定して太字で表すとともに、高等学校の学習への接点を意識して、常体の表現で、専門用語を多く用いながら記述されている。	本文は、重要語句を多めに設定して太字で表すとともに、歴史的事象の読み取りが深まるよう、資料と対応させながら、平易な文章で丁寧に記述されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	様々なマークやコーナーを効果的に活用して、学習過程や学習活動、他分野・他教科との関連を明確に示し、学習内容を深めていけるよう工夫されている。	見開きのタイトルを学習内容を象徴するインパクトのある文にすることで、興味・関心や学習意欲を高め、学習内容を深めていけるよう工夫されている。	側注や資料の説明を詳細に記述するとともに、「解説」や各種コラムなどの補足資料を豊富に掲載することで、学習内容を深めていけるよう工夫されている。	地図、系図、組織図、グラフ、表などの資料を詳細なものにすることで、得られる情報量を増やし、学習内容を深めていけるよう工夫されている。	文化史の学習は、見開き2ページにとらわれず、資料を大きく、豊富に、効果的に掲載することで、学習内容を深めていけるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末年表中に、日本と世界の出来事を結び付ける矢印を付けることで、日本の歴史と世界の歴史の関連性が把握しやすくなるよう配慮されている。	本文中に、関連記述があるページ番号を、太字・ゴシックで強調して付すことで、歴史的事象のつながりに対する意識が高められるよう配慮されている。	巻末の人物索引に凡例を設け、下線や記号、赤字を使って人物を分類して示すことで、学習内容の確認や整理がしやすくなるよう配慮されている。	各章の最初に年表を配置し、基調となる色を日本史と世界史で使い分ける（年表と同色）ことで、学習の流れが把握しやすくなるよう配慮されている。	見開きの中に、時代・世紀のスケールと小年表を掲載することで、時代のつながりや時系列を常に意識しながら学習していけるよう配慮されている。
	総合所見	理解を深めるための具体的な学習活動を、働かせる見方・考え方などとともに示すことにより、知識及び技能を習得できるよう配慮されている。 また、多様な思考ツールを用いたまとめ方を示すことで思考を整理し、その内容を表現する力を身に付けることができるよう工夫されている。	小学校で学んだ見方・考え方を想起させ、それを活用・発展させながら課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。 また、章末において時代の変化を捉える場面を設け、歴史的事象を多面的に考察する力を身に付けることができるよう工夫されている。	イラストから各時代を概観するとともに、前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、当時の社会への興味・関心を高められるよう工夫されている。 また、側注や資料の説明を詳細に示すとともに、人物索引に凡例を設けるなど学習内容の確認や整理がしやすくなるよう配慮されている。	歴史的事象について詳細に取り上げたり、詳細な資料を掲載したりすることにより、高等学校の学習への接続がスムーズに進められるよう配慮されている。 また、各所に多くの課題や発問を設定し、それに取組ませることで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。	1単位時間ごとに課題解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方を示すことで、課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。 また、章の導入において、前の時代との変化を示す資料を読み取る活動を行わせることで、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	

調査票 1 種目名 (社会 (歴史的分野))

観点	項目・発行者名(番号)	育鵬社(227)	学び舎(229)				
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	課題に対して重要語句を用いてまとめる活動を示すことにより、基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	章末において年表などを使って内容を確認する活動を示すことにより、基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。			
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	章末において資料を基に意見を出し合う場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	章末において資料を基に時代を大観する場面を設けることで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。			
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	章の導入で、時代を概観する活動と資料を詳しく見る活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。	章の導入で、世界地図と資料を用いてその時代を概観する活動を示すことにより、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	授業時間ごとに学習課題とその課題に対応した問いを設定し、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。	大きな図版や具体的な記述により、生徒の発見や疑問を引き出し、歴史的な見方・考え方を働かせて課題を追究したり解決したりする活動を進められるよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校で学んだ歴史の流れや人物についてまとめる活動を行わせることにより、中学校の学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。	小学校の学習内容を年表や人物カードを用いた活動で振り返らせることにより、中学校の学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	教科書の構成を、序章→各時代の学習→歴史学習のまとめとし、各時代の学習を積み上げた上で、歴史全体を大観しながら自分なりのまとめができるよう配列が工夫されている。	高等学校の学習への接続を意識し、全体を通して世界史を重視した教科書構成にすることで、世界と日本のつながりの中で歴史を学習していけるよう配列が工夫されている。			

調査票1		種目名 (社会 (歴史的分野))				
観点	項目・発行者名(番号)		育鵬社(227)	学び舎(229)		
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	志波城、胆沢城、奥州藤原氏、中尊寺金色堂、後藤新平、高野長英など地域素材として活用できる事象が本文や写真で取り上げられている。	奥州藤原氏、中尊寺金色堂、三閉伊一揆、「東日本大震災の石碑から木碑へ」など地域素材として活用できる事象が本文や写真で取り上げられている。		
	3	内容と分量のバランスについて	導入と古代史の学習部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。	近現代史の学習部分を重点化するなど軽重をつけて取り扱われており、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	本文は、重要語句を精選して太字で表すとともに、歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりに留意しながら、記述量を確保し、丁寧に記述されている。	本文は、主体的な学習を意識し、重要語句を太字にせず、また、エピソードなどを交え、興味・関心を高められるような構成で記述されている。		
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	資料の数、配列、大きさを工夫し、ポイントとなる資料を強調して掲載することで、資料への関心を高め、学習内容を深めていけるよう工夫されている。	興味・関心を高めるような写真、絵、図を豊富に、効果的に掲載することで、学習意欲を引き出し、学習内容を深めていけるよう工夫されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	各章の最初に、「日本の歴史モノサシ」を掲載することで、時代配列や各時代の長さ、各章の学習範囲がイメージしやすくなるよう配慮されている。	巻末に、豊富な資料が付された年表を、12ページにわたって掲載することで、歴史の流れや事象の関連が把握しやすくなるよう配慮されている。		
	総合所見		章の導入で、時代を概観する活動と時代を象徴する資料を読み解く活動を合わせて行わせることで、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。 また、各時代の大きな出来事について、様々な資料を基に詳しく掘り下げて考えさせ、生徒が相互に意見交流ができるよう配慮されている。	全体を通して世界史を重視した構成になっており、世界と日本のつながりの中で歴史を学習していけるよう配慮されている。 また、本文を興味・関心や課題意識を高めるような文章構成にしたり、視覚的資料を豊富に掲載したりすることで、主体的な学習が促されるよう工夫されている。		

調査票 1		種目名 (社会 (公民的分野))					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教出 (17)	帝国 (46)	日文 (116)	自由社 (225)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	1単位時間の「学習課題」から「チェック＆トライ」までの流れを設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	1単位時間の学習内容を振り返る「確認」や「公民の技」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「資料活用」や1単位時間の学習内容を振り返る「確認しよう」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「学習課題」と課題を解くための「見方・考え方」を明確に示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	1単位時間の「学習課題」と対応した要点を「ここがポイント」で示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	「まとめの活動」を設定し、思考を整理し学びの深まる話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	「読み解こう」や「Q」を適宜設定し、考察したことの話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	「アクティブ公民」を設定し、習得した概念を働かせる話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	「チャレンジ公民」と単位時間「アクティビティ」を設定し、話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。	「アクティブに深めよう」を設定し、学習内容を活用しながら話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	単元の「探究課題」を立てる活動で、社会参画への意識を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	導入ページ「学習のはじめに」によって、単元の学習を見通させることにより、興味・関心を喚起できるよう工夫されている。	単元の冒頭に「学習の前に」を設けて社会の全体像を概観させることで、学びを追究する意欲を喚起できるように工夫されている。	導入ページ「学習の始めに」によって、単元の見通しをもたせることにより、興味・関心を喚起できるように工夫されている。	テーマページ「もっと知りたい」で学習を深めさせることにより、学びを追究する意欲を喚起できるように工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	現代社会の見方・考え方を働かせて言語活動を行う場面を適切に設け、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	見方・考え方を働かせて言語活動を行えるように、資料の内容や提示の仕方を工夫し、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	課題を追究する際の見方・考え方を例示し、深く考察できるように工夫することで、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	単元の学習の中で繰り返し見方・考え方を働かせて課題を追究できるように工夫し、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	現代社会の見方・考え方を働かせてレポートの作成やディベートに取り組むことにより、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校や分野、教科関連マーク、Dマークコンテンツなど、他の教科や他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。	ページ下に他教科やSDGsとのつながりが記載してあり、他の教科や他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。	ページ下に小学校や地理と歴史とのつながりが記載してあり、他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。	「連携コーナー」で小学校や地理と歴史の振り返りが記載してあり、他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。	小学校や地理と歴史での学習内容に関わる資料を取り上げ、他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	各章の初めに、章全体を貫く「探究課題」を示し、章末の「まとめの活動」と関連付けることで、各章の学習内容が段階的に捉えられるよう工夫されている。	各章の初めに「学習の見通し」を示し、章全体と各節のテーマ、学習の「見方・考え方」を確認してから学習に入ることができるよう工夫されている。	各章の初めに、章全体を貫く「章の問い」を設定し、章末で問いに対応した振り返りを段階的に行うことで、学習内容が活用できるよう工夫されている。	各編の初めに、漫画を通して編全体と各章の学習内容や着目する視点を示すとともに、関心・意欲をもって学習に入ることができるよう工夫されている。	各章の終わりに「学習のまとめと発展」を設定し、学習のまとめの活動を通して各単位時間の学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。

調査票 1		種目名 (社会 (公民的分野))					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教出 (17)	帝国 (46)	日文 (116)	自由社 (225)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	東日本大震災後の復興に向かう状況や多岐にわたる地域活動と社会的行事等を扱うなど、地域の実情との関連付けがなされている。	東日本大震災を通して、持続可能な環境やエネルギー問題を扱うなど、地域の実情との関連付けがなされている。	東日本大震災時のボランティアや教訓、災害と行政との関連を扱うなど、地域の実情との関連付けがなされている。	東日本大震災の教訓や防災における行政の役割、伝統的工芸品を扱うなど、地域の実情との関連付けがなされている。	
	3	内容と分量のバランスについて	各単元をバランスよく配当するとともに、全体の配当時間を抑え、柔軟に指導計画を作成できるよう工夫されている。	政治に関する学習に重点を置きながらも、全体の配当時間を抑え、柔軟に指導計画を作成できるよう工夫されている。	各単元をバランスよく配当するとともに、配当時間を抑え、より柔軟に指導計画を作成できるよう工夫されている。	法や経済に関する学習に重点を置きながらも、全体の配当時間を抑え、余裕をもって学習できるよう工夫されている。	各単元をバランスよく配当するとともに、全体の配当時間を抑え、発展的な学習を確保できるよう工夫されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、因果関係が分かりやすい平易な表現を用いて記述するように配慮されている。	文章は平易な表記・表現に徹し、身近な具体例や実社会の提言を盛り込む記述をすることで、学習内容の理解がしやすくなるように配慮されている。	社会的事象の背景や因果関係まで分かるように要点を整理し、平易な表現を用いて記述することで、分かりやすい説明になるよう配慮されている。	十分な文字量を確保し、平易な表現で、社会の仕組みについての抽象的な概念や因果関係を丁寧に記述することで、分かりやすく説明するよう配慮されている。	専門的な語句を使用するなど、本文の記述量を増やし、各項目を筋道立てて詳細に記述することで、学習内容が理解しやすくなるよう配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	UDフォントを使用して視認性を高めるとともに、グラフなどは凡例を使用せずに図中に直接示すようにすることで、読み取りやすくなるように配慮されている。	判読しやすいカラーUDやUDフォントを使用することで視認性を高め、本文中にも資料番号を挿入することにより、読み取りやすくなるように配慮されている。	UDフォントを使用して視認性を高めるとともに、本文の記述を補足する写真や図表などを豊富に掲載することで、読み取りやすくなるように配慮されている。	判読しやすいカラーUDやUDフォントを使用することで視認性を高め、本文と図版の関連付けを明示することにより、読み取りやすくなるように配慮されている。	重要語句やふりがなをゴシック体で示したり、単位時間の学習内容に関する図版を効果的に配置したりすることで、読み取りやすくなるように配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻頭で教科書の使い方と学び方を設け、巻末には現代社会の年表や地図、法令集や用語解説を掲載するなど、使いやすさに配慮されている。	巻頭で公民で学ぶ内容と見通しや学び方を設け、現代社会の年表や地図、法令集や用語解説を掲載するなど、使いやすさに配慮されている。	巻頭で学習の仕方や内容の全体像を示し、年表や法令集、ページ横のインデックスや用語解説を掲載するなど、使いやすさに配慮されている。	巻頭で教科書の使い方を設け、インデックスでの色分け、法令集、用語解説、QRコンテンツを掲載するなど、使いやすさに配慮されている。	巻頭で教科書の使い方を設け、巻末には現代社会の年表や法令集、ページ横に用語解説を掲載するなど、使いやすさに配慮されている。
	総合 所見	現代社会の見方・考え方を働かせる問いを軸にした単元の構造化により、深い学びにつながる課題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。 また、現代社会の諸課題についての対話的な学習を適切に設け、主体的に参画する力を養えるよう配慮されている。	現代社会の見方・考え方を働かせた言語活動が展開されるように資料を提示し、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。 また、単位時間や単元ごとの学習の見通しと振り返りを設け、課題解決的な学習を通して主体的に学べるよう配慮されている。	臨場感のある導入から、課題を追究する際に働かせる見方・考え方を事例を交えて示すことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるように工夫されている。 また、章末の振り返りで学んだことを段階的にまとめながら、主体的に課題を解決できるように配慮されている。	単位時間に学習課題を解決するために、見方・考え方を働かせて話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。 また、漫画を通じた導入や抽象的な事象を図示したり豊富な資料、QRコンテンツ等を設け、主体的に学習できるように配慮されている。	現代社会の見方・考え方を働かせてレポートの作成やディベート学習に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。 また、学習内容を深化、発展させるテーマページを多く設定することで、学習意欲を喚起できるように配慮されている。	

調査票1		種目名（社会（公民的分野））					
観点	項目・発行者名(番号)	育鵬社(227)					
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	1単位時間の「課題」と対応したまとめの言語活動を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。				
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	各単位時間に学習のまとめを設定し、学習した内容を活用しながら話し合い活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。				
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	テーマページ「学習を深めよう」で、現代社会の課題に主体的に向き合い、追究しようとする態度を育てるように工夫されている。				
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	現代社会の見方・考え方を働かせて言語活動を行えるように単元の構成を工夫し、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。				
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	各章の導入で小学校で学んだ用語や地理と歴史の関わりを記載し、他学年の内容などとの関連が図られるよう配慮されている。				
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各章の初めに「入り口」を設定し、学習内容に対する興味・関心を高めるとともに、章末の「これから」で学習内容が活用できるよう工夫されている。				

調査票1		種目名（社会（公民的分野））					
観点	項目・発行者名(番号)		育鵬社(227)				
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	東日本大震災後のエネルギー問題の中で、持続可能な環境やエネルギーを扱うなど、地域の実情との関連付けがなされている。				
	3	内容と分量のバランスについて	各単元をバランスよく配置するとともに、配当時間を抑え、より柔軟に指導計画を作成できるよう工夫されている。				
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	実社会の動きや社会的事象について、その背景及び因果関係を平易な文章で記述することで、学習内容が理解しやすくなるよう配慮されている。				
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	重要語句やふりがなにゴシック体を用いて視認性を高め、本文の記述と図版との関連付けを的確にすることにより、読み取りやすくなるように配慮されている。				
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻頭、巻末に持続可能な社会の実現について考えさせる写真、年表、法令集や用語解説を掲載するなど、使いやすさに配慮されている。				
	総合 所見		現代社会の見方・考え方を働かせて学習の各段階に応じた多様な言語活動を行えるように、単元の構成が工夫されている。 また、多様なテーマページを設定することで、学習内容に対する興味や関心を喚起し、主体的に学習に取り組む態度を養えるように配慮されている。				

調査票1		種目名 (地図)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	帝国(46)				
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	巻頭で、地図帳の具体的な活用例を示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。	巻頭で、実際の地形図を取り上げ、作業を通して基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。			
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	テーマ資料の中に社会的な見方・考え方を働かせる「ふき出し」を設けることにより、学びを深め、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	「地図活用」として社会的な見方・考え方を働かせる「問い」を要所に示すことにより、学びを深め、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。			
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	関連する資料があることを示す「ジャンプ」を設けることで、様々な学習課題に沿って、主体的に追究活動に取り組めるよう配慮されている。	イラストを用いた鳥瞰図により地域的特色を捉えることができるようにすることで、主体的に追究活動に取り組めるよう配慮されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	歴史や公民の学習でも活用しやすくすることができる資料をマークを付して掲載し、各分野の学習の有機的な関連が図られるよう配慮されている。	他地域との古くからの交わりや現在のつながり、公民の学習を意識した巻末資料などを掲載し、各分野の学習の有機的な関連が図られるよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	巻頭に持続可能な開発目標(SDGs)のゴールの一覧を設け、現代的な諸課題を捉え、教科等横断的な学習の展開が図られるよう工夫されている。	持続可能な社会の実現に向け、環境、防災、日本との結び付きを特設資料図として掲載し、教科等横断的な学習の展開が図られるよう工夫されている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	地域的なつながりを重視し、一般図、基本資料、テーマ資料等を掲載するなど、地域の特色を具体的に読み取れるよう工夫されている。	世界と日本に分け、一般図、鳥瞰図、資料図等の配列を意図的に構成するなど、地域の特色を具体的に読み取れるよう工夫されている。			

調査票 1		種目名 (地図)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	帝国(46)			
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	食文化や伝統工芸品の写真を掲載するとともに、東日本大震災の状況に関する資料を取り上げるなど、身近な事象として追究できるよう配慮されている。	産業や防災に関わる資料を掲載するとともに、東日本大震災からの復興を示す資料を取り上げるなど、身近な事象として追究できるよう配慮されている。		
	3	内容と分量のバランスについて	詳細な資料や多面的・多角的に捉える図や資料を掲載し、課題解決的な学習に活用できるよう工夫されている。	追究活動をより深めるために様々な図や資料を掲載し、課題解決的な学習に活用できるよう工夫されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	地図中の地名には全てふりがなを付したり、写真資料の解説に平易な敬体を用いたりするなど、分かりやすさに配慮されている。	地図中の地名には全てふりがなを付したり、産物や環境に関して絵記号を用いたりするなど、分かりやすさに配慮されている。		
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	フラットデザインの採用により図を読み取りやすくするほか、色の組み合わせを考慮することで、集中して学習に取り組むことができるよう配慮されている。	大判化により地域の特色を捉えやすくするほか、ユニバーサルデザインフォントを使用することで、集中して学習に取り組むことができるよう配慮されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	地形や気候等の分類ごとに資料を探せる「資料さくいん」を設けることで、活用しやすいよう配慮されている。	索引では地名を色分けして表したり、地名の前に記号を付したりすることで、活用しやすいよう配慮されている。		
	総合 所見		持続可能な社会の実現に向け、現代的な諸課題についての資料を通して、学習を深めることができるよう配慮されている。 また、社会的な見方・考え方を働かせる「ふき出し」を示すことにより、課題解決的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	大判化の紙面を生かし、鳥瞰図や衛星画像等を多く掲載し、より視覚的に地域の特色を捉えることができるよう配慮されている。 また、社会的な見方・考え方を働かせる「問い」を要所に示すことにより、資料活用能力を高め、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。		

調査票 1 種目名 (数学)							
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	単元や内容のまとまりごとに、学習内容を活用したり振り返ったりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	節末・章末・巻末に段階的に問題を設定し、繰り返り学習することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	領域の学習前や本文中に学び直しの機会を意図的に設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	学習した内容の数学的なよさを生徒の言葉で示し、問題解決に生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	章末問題を2部構成とし、習熟度に応じた豊富な問題に取り組むことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	「深い学びのページ」をほぼ全ての章に設け、見方・考え方を働かせながら数学的な活動に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。	適用問題の中に意図を明らかにした「判断しよう」、「伝えよう」の問いを新設し、問題解決を通して、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。	学習のきっかけとなる問いに解決への見通しにつながる着眼点を明示し、筋道を立てて論理的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。	章末・巻末に設定された活用問題で、理由や方法を説明する問題や、統合的・発展的に思考する問題に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。	多様な考えに触れながら理解を深めたり、複数の考え方を比較しながら統合的に考察したりする場面を設定し、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	必要感のある問題で、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させ、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	各章に導入の活動を設定し、今後の学習への意欲と問いを高め、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	自ら問題解決の見通しを立て解決していく学習過程を示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	問題を焦点化し、そこから生まれる新たな問いを示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	節の導入で身近な題材を設定し、数学を学ぶ意義や有用性を実感させ、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	多様な考えを引き出す問題を通して、互いの考えを発表する場面を設定し、言語活動が充実するよう配慮されている。	考えを比較したり、話し合ったりする対話的な学習場面を取り入れ、言語活動が充実するよう配慮されている。	問題解決から新たな問題発見に向けて話し合う場面の対話例を示し、言語活動が充実するよう配慮されている。	複数の考え方や誤った考えを取り上げ、論理的に説明する問題を設定し、言語活動が充実するよう配慮されている。	図や情報を基に自分の考えを整理し、説明したり話し合ったりする場面を設け、言語活動が充実するよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	算数と数学の学びをつなぐ単元を第1学年に新設するなど、小学校の学びを生かした学習展開ができるよう配慮されている。	他教科や総合的な学習の時間に関する豊富な題材を扱い、視野を広げて学習への興味・関心をもてるよう配慮されている。	巻末折込でプログラミングを扱い、論理的な思考の大切さやICT活用の重要性について気付くことができるよう配慮されている。	陸上トラックの作り方、記号や式の英語表記などを扱い、他教科とのつながりが意識できるよう配慮されている。	他教科で学習する内容を題材として取り上げ、数学を使った探究的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	単元を貫く題材を設定し、連続性のある学習場面を通して生徒が主体的に問題解決ができるよう構成されている。	学習の手がかりとなる問題を示し、生徒が目的意識をもって主体的に学習を進めることができるよう構成されている。	章末に学びを自己評価するページを設定し、学びの自覚を促し、主体的に学ぶ意欲を引き出せるよう構成されている。	各単元の前に既習内容を振り返るページを設定し、生徒のレディネスに配慮して学習が進められるよう構成されている。	関連する既習内容を「ふりかえり」の枠囲みで明示し、スパイラルに学習することができるよう構成されている。

調査票 1		種目名 (数学)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けにつ いて	東北の素材を掲載したり、 防災に関する題材に東 日本大震災を取り上げたり して、数学を身近に感じら れるよう配慮されている。	外国をルーツにもつ登場 人物や、外国語による用語 の表記などを取り上げ、異 文化理解が促進されるよう 配慮されている。	現代的な環境問題に関す る題材を取り上げ、自然を 大切にし、環境保全に寄与 する態度を養うことができ るよう配慮されている。	数学が様々な職業や社会 の生活で生かされている実 例を取り上げ、キャリア教育 の充実につながるよう配慮 されている。	環境、福祉、防災などの 現代社会の課題を取り上 げ、持続可能な社会づく りに向けた態度を養えるよ う配慮されている。
	3	内容と分量のバランスにつ いて	章の問題Bを2ページ構成 とし、活用の問題を取り上 げるなど、習熟に応じて進 んで学習に取り組めるよう 配慮されている。	「プラス・ワン」など、 自分で取り組む課題を豊富 に掲載し、家庭学習や個に 応じた指導で活用できるよ う配慮されている。	「数と式」領域に「計算 力を高めよう」のページを 設定し、家庭学習などでも 習熟が図られるよう配慮さ れている。	「学びのマップ」によ り、生徒が自主学習に取り 組む際にも、必要に応じて 既習内容を確認できるよう 配慮されている。	逆開きの2部構成とし、 「自分から学ぼう編」を活 用して授業以外でも生徒が 主体的に学習できるよう構 成されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語 句や文章による表現につ いて	典型的な誤答例を取り上 げ、間違えやすいポイントを えやすくするなど、分かりや すさに配慮されている。	解答例を黒板の板書形式 で示したり、1年生で文字を 大きくするなど、分かりや すさに配慮されている。	学習の区切りごとに分 かったことを端的な表現で 明示するなど、分かりやす さに配慮されている。	小学校との学習内容の違い を明示し、学びの広がり を捉えやすくするなど、分 かりやすさに配慮されて いる。	例題にタイトルを付した り、本文のポイントなどを 囲みで示すなど、分かり やすさに配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記につ いて	数学的な見方・考え方を 「虫めがねマーク」を付し て明示し、今後の学習や生 活で意識できるよう配慮さ れている。	各項目の区切りが明確な レイアウトとし、学習のめ あてやまとめを明示し、重 点が捉えやすくなるよう配 慮されている。	図を教科書の外側に配置 し、余白も十分に取り、教 科書への書き込みや作図の 作業がしやすいよう配慮さ れている。	巻頭の折り込みを開くこ とにより、どのページでも 数学的な見方・考え方を意 識しながら学べるよう配 慮されている。	例題や問題から発展的に 考える視点を「？」マーク で示し、自ら新たな疑問を 見出すことができるよう配 慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使いやすさへ の配慮について	学習内容の理解を助ける 「Dマークコンテンツ」を準 備し、該当箇所にマークを 付すなど、使いやすさに配 慮されている。	教科書の補足情報や動画 等のコンテンツをARアプリ で呼び出すことができるよ うにするなど、使いやすさ に配慮されている。	シミュレーションや動画 などのデジタルコンテンツ にQRコードからアクセスで きるようにするなど、使い やすさに配慮されている。	「まなびリンク」マーク から視覚的な理解を補助す るデジタルコンテンツを活 用できるように、使いやす さに配慮されている。	章末問題などのヒントや 解説を見ることができる 「解説コンテンツ」を準備 し、家庭学習でも使いやす いよう配慮されている。
	総合 所見	節の導入や「深い学びの ページ」などで数学の問題 発見・解決の過程を重視し た数学的活動を取り上げ、 日々の学習を通して思考 力・判断力・表現力等が身 に付けられるよう配慮され ている。 また、数学を生活や学習 に活用する場面を設け、数 学の有用性を実感させるこ とで、学習への意欲が高ま るよう配慮されている。	単元の冒頭でこれまでの 学習とのつながりや内容の 見通しを示すとともに、 「導入の活動」を通して生 徒の興味・関心を高め、主 体的に学習に取り組めるよ う配慮されている。 また、根拠を明らかにし て判断したり、説明したり する活動場面を設定し、数 学的に考える資質・能力を 育てることができるよう配 慮されている。	事象を数理的に捉え、対 話を通して問題を発見し解 決する過程を重視し、協働 的に学習を進めながら数学 的に考える資質・能力を育 むことができるよう配慮さ れている。 また、何が分かったか、 何ができたようになったか を振り返る活動の場を設定 し、学ぶ意欲を引き出すこ とができるよう配慮されて いる。	類型化した「数学的な考 え方」を巻頭で一覧で示 し、折り込みにより本文の 学習中に適宜活用できるよ う工夫されている。 また、本文中の重要な問 いを強調したり、素朴な疑 問を明示したりすること で、生徒自らが事象に対 して新たな問いをもち続け ながら解決し、主体的に学 習に取り組むことができ るよう配慮されている。	「逆開きの2部構成」と し、「自分から学ぼう編」 で授業以外でも生徒が主 体的に学習できるよう構 成されている。 また、自分の考えを表現 し、分かりやすく他者に伝 える問いを位置付け、多様 な視点を取り入れながら学 習することで、言語活動 を通して豊かな表現力や統 合的に考える力を養うこと ができるよう配慮されて いる。	

調査票 1		種目名 (数学)					
観点	項目・発行者名(番号)	数研(104)	日文(116)				
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	各章に既習事項の確認を設け、学習のつながりを意識して問題解決に取り組むことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	問いの意図や本時のめあてを明示し、生徒が学習の目的を理解して活動し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。			
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	数学的な見方・考え方を可視化し、多様な意見を比較検討しながら学習を進めるプロセスを大切に、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。	数学的な見方・考え方を具体例とともに明示し、様々な問題解決の場面で繰り返し使いながら豊かにすることで、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。			
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	ガイド役が考えるタイミングや考え方のヒントを提示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	問題発見、解決の過程における学び方や振り返り方を示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	見出したことからの説明や、方法・理由を説明する場面を設定し、言語活動が充実するよう配慮されている。	話し合いを通して解決したり、よりよい考えに高めたりする活動を設定し、言語活動が充実するよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校及び高等学校とのつながりを考慮した題材を扱い、数学全体の系統性を意識して学習できるよう配慮されている。	生活で用いられている数学のよさや美しさを取り上げ、実社会での問題発見・解決に生かすことができるよう配慮されている。			
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	学んだことを発展・活用させる題材を別冊にまとめ、ワークシート形式で探究的な学習ができるよう構成されている。	小節末に適宜「次の課題」を明示し、生徒が次時への見通しをもって学習を進めることができるよう構成されている。			

調査票 1		種目名 (数学)				
観点	項目・発行者名(番号)		数研(104)	日文(116)		
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	身の回りの日常場面を数学的に捉え問題を見出す活動を設定し、数学の有用感を実感できるように配慮されている。	伝統文様や和算の歴史などを取り上げ、日本の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。		
	3	内容と分量のバランスについて	巻末の「数学旅行」や「チャレンジ編」など、生徒が興味や進度に応じて自主的に取り組むことができるよう配慮されている。	習熟を図る問題から発展的な問題まで幅広く取り上げ、学習状況に応じて家庭学習などでも活用できるよう配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	授業場面に即した先生と生徒の対話形式で学びの流れを構成するなど、分かりやすさに配慮されている。	具体的な用語の使い方を「表現の例」としてセリフ形式で示すなど、分かりやすさに配慮されている。		
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	図の中にある平行な辺や、等しい角を表す記号などを色分けして示し、関係性が捉えやすくなるよう配慮されている。	巻末にそのまま切り取ってノートに貼り付けられる「対話シート」を掲載し、学習しやすいよう配慮されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	教科書の類題をウェブ上にランダムに表示する「補充コンテンツ」を準備し、家庭学習でも使いやすいよう配慮されている。	練習問題やアニメーションなどのQRコンテンツを準備し、該当箇所をマークで示すなど、使いやすさに配慮されている。		
	総合所見		授業に即した対話の流れから、数学的な見方・考え方を働かせたり、批判的に考察したりすることができるよう配慮されている。 また、学習内容を深める探究学習と、身の回りの問題について数学で解決する課題学習をワークシート形式で別冊にまとめ、問題解決と問題発見の力を高めることができるよう配慮されている。	巻頭で数学の学び方を示すとともに、各小節に問いの意図やめあてを明示し、生徒が学習の目的を理解することで、主体的に取り組めるよう配慮されている。 また、大切な見方・考え方を適宜生徒に示し、それらを働かせながら問題を解決する場面を設定し、考える力や説明する力を高めることができるよう配慮されている。		

調査票 1		種目名 (理科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書 (2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	つまずきやすい内容には、デジタルコンテンツで例題と考え方を示すなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	学習課題や観察、実験の目的、着目点を明らかにし、探究の過程を分かりやすく示すなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	単元の始めで、身に付ける知識及び技能を明確にし、見通しをもたせるなど基礎的・基本的な知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	学習内容の要点を端的にまとめ、その定着を確認する場面を設けるなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	つまずきやすい問題の考え方を示したり学習した内容を確かめたりするなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得されるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	考察するための視点を示したり、単元の課題に対する結論を表現させたりすることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	考察するための視点を具体的に示したり、結果から分かること比較させたりすることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	1時間ごとの理科の見方・考え方や学年ごとの探究の重点を具体的に示すことで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	生活経験や既習内容を根拠に課題に対する仮説や検証計画を立てることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。	仮説や実験計画の視点や具体例を示したり、各学年の問題解決の力を意識させたりすることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	節の導入において知的好奇心を喚起する問いかけを設けることで、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	写真や図、文章の提示を通して疑問をもたせることで、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	学習活動につながる「気付き」の例を提示することで、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	学習する際の疑問につながる活動場面を設定することで、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	導入場面にQR動画を配置し興味を喚起することで、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	課題に対する結論を生徒が自分の言葉でまとめる場面を設定し、使用するキーワードを示すなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	キャラクターによる対話場面を観察、実験を中心とした探究の過程の中で設定し、対話的な学びや言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	観察、実験の考察では結果のどの部分に注目して分析・解釈するのか等の考え方を例示することで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	観察、実験の結果を分析・解釈する場でレポートの書き方と例を提示することで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「探Qシート」や図、イラストに直接書き込みをしながら対話的な学びを促すことで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	既習事項と関連する本文に下線を付け、脚注で説明し復習することができるようにするなど、他学年との関連に配慮されている。	学習内容と関連する既習事項を示す「思い出そう」を設定し復習できるようにするなど、他学年との関連に配慮されている。	「ふり返ろう・つなげよう」を設定し、既習事項を振り返ることができるようにするなど、他学年との関連に配慮されている。	「思い出そう」を設定し、前学年までの既習事項を振り返ることができるようにするなど、他学年との関連に配慮されている。	理科に欠かせない算数・数学の知識及び技能を必要場面でも示し、復習できるようにするなど、他教科との関連に配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	単元で学ぶことについて、章の前後で同じ問いかけをすることにより、見通しをもって探究し、自己の考えの変容を知ることができる構成となっている。	単元の始めに既習事項を振り返り、単元の終わりに学習したことを活用することで、学習の連続性を意識することができる構成となっている。	観察、実験を探究の柱に位置付け、方法は見開きページ、結果は次ページに設定するなど、探究の過程を意識することができる構成となっている。	章の前後で同じ問いかけをすることにより、見通しをもって学習を進めることができ、生徒自身の成長を実感できる構成となっている。	問題解決の見通しをもって学習活動が展開できるように観察、実験を見開きページで示すなど、探究の過程を意識することができる構成となっている。

調査票1 種目名 (理科)							
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	過去の自然災害と人間生活との関係を考えさせるコラムや写真を扱うなど、地域の実情に関連させて学習できるように配慮されている。	科学館・博物館の活用の仕方を示したり、東日本大震災の内容を扱ったりするなど、地域の実情に関連させて学習できるように配慮されている。	巻頭で学習内容と職業について関連付けたり、防災に関する資料を活用したりするなど、地域の実情に関連させて学習できるように配慮されている。	科学の話題を紹介するコラムや、自然災害について学年間のつながりをもたせなど、地域の実情に関連させて学習できるように配慮されている。	自然事象に関する写真を豊富に扱い、災害の内容を自然現象と関連付けて扱うことで、地域の実情に関連させて学習できるように配慮されている。
	3	内容と分量のバランスについて	練習ドリル等をQRコード教材にして精選するなど、ゆとりをもって学習が進められるよう配慮されている。	学年に応じた発展的な学習を精選するなど、ゆとりをもって学習が進められるよう配慮されている。	基本問題等をQRコード教材として精選するなど、ゆとりをもって学習が進められるよう配慮されている。	必修内容と発展的な内容を区別し精選するなど、ゆとりをもって学習が進められるよう配慮されている。	観察、実験を中心とした学習を精選するなど、ゆとりをもって学習が進められるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	重要な文や語句にUD書体を使用し、中学1年の字の大きさを小学6年と同じにするなど、生徒が読みやすいように配慮されている。	見出しにUD新丸ゴシックを使用し、吹き出しの文の改行位置を揃えることで生徒が読みやすいように配慮されている。	カラーUDやUD書体を使用したり、重要な内容を箇条書きにしたりすることで、生徒が読みやすいように配慮されている。	カラーUDやUD書体を使用したり、従来の教科書より文字を大きくしたりすることで生徒が読みやすいように配慮されている。	UDフォントを本文や見出しに使用し、発達段階に応じて文字のサイズを変えることで、生徒が読みやすいように配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	従来より大きいA4スリム判にすることで探究の過程を見やすくするなど、分かりやすさに配慮されている。	図や表、文字の色の組み合わせや線種を変更するなど、分かりやすさに配慮されている。	大事な情報に下線を付けたり、グラフの線種を変えたりするなど、分かりやすさに配慮されている。	従来より横幅の広いAB変形判にし単元扉に大きな写真を配置するなど、分かりやすさに配慮されている。	従来より大きいA4判縦にすることで写真や図を大きくするなど分かりやすさに配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	探究の流れをフローチャートで示すなど、授業の流れを見通せるよう使いやすさに配慮されている。	学習内容を示すマークを使用するなど、見通しをもって学べるよう使いやすさに配慮されている。	学習内容と日常との関連を示すコーナーを適宜設けなど、使いやすさに配慮されている。	探究の各過程を示すマークを使用し学習の流れが見えるようにするなど、使いやすさに配慮されている。	「科学コラム」を節末に配置し、学習展開が途切れないようにするなど、使いやすさに配慮されている。
	総合所見	生徒の気付きや疑問をもとに課題を設定し、自分の言葉で考えを表現しながら主体的に課題解決ができるよう工夫されている。 また、デジタルコンテンツや「考え方」を示すことで、生徒のつまずきを解消する配慮がされている。	実験の着目点や各学年で重視する探究の学習過程を示すことで、生徒が見通しをもって課題解決ができるよう工夫されている。 また、豊富な資料により防災教育や生活、職業に関連付けられるよう配慮されている。	学習活動につながる気付きの例から課題設定し、考察の視点や文例を示すなど主体的に問題解決ができるよう工夫されている。 また、デジタルコンテンツにより基本問題や多様な自由研究テーマに取り組みられるよう配慮されている。	生徒の疑問から課題を設定し、生活経験や既習内容を根拠として仮説を立て、主体的に問題解決ができるよう工夫がされている。 また、習得した知識及び技能を防災教育や生活、職業に関連付けられるよう配慮されている。	観察、実験を中心とした探究的な活動を重視し、仮説や計画などを自ら考え、主体的に問題解決ができるよう工夫されている。 また、豊富なデジタルコンテンツにより、授業の導入や家庭学習に活用できるよう配慮されている。	

調査票1		種目名 (音楽 (一般))						
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)					
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	教材ごとの学びのねらいについて、比較等を通して要素の働きを実感を伴って理解し、発展的な学びで既存の知識と新たな知識を結び付けることで、知識を再構築できるよう工夫されている。	音楽を形づくっている要素や記号について、各教材の近くに表示することで、音楽活動を通して学び、「深めよう」で、知識を音楽の働きと関わらせて身に付けられるよう工夫されている。				
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	「話し合おう」で、他者と協働しながら、表したい音楽表現について思いや意図をもったり、音楽の意味や価値などを自分なりに評価しながら聴いたりすることができるよう工夫されている。	話し合いの例で、何をどう考えて相手に伝えればよいかについてヒントを示すことで、他者と協働して音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう工夫されている。				
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	つまずきに対応したアドバイスにより、見通しをもって学習を調整しながら、粘り強く取り組めるよう工夫されている。	記述、調べ方、コツを例示することで、見通しをもって学習を調整しながら粘り強く取り組めるよう工夫されている。				
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	教材ごとに音楽を形づくっている要素の働きを具体的に示し、何を学ぶかが明確になるよう工夫されている。直接記述するページを設定し、言語活動の充実にも配慮されている。	各教材の学習活動と音楽を形づくっている要素を分けて示し、何を学ぶかが明確になるように工夫されている。直接記述するページを設定し、言語活動の充実にも配慮されている。				
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	作詞者、作曲者、演奏者のメッセージの記載や我が国の自然や四季の美しさや味わえる教材の紹介により、道徳的諸価値について考え、生き方を考えられるよう工夫されている。	各分野の専門家のメッセージにより、音楽に込められた思いや生き方に触れることで、考える力を引き出し、道徳教育やキャリア教育との関連が図られるよう工夫されている。				
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	「学びのユニット」に、学びのねらいや手掛かりとなるヒントを簡潔にまとめ、教材の配列を工夫し、学習内容の関連を図り、見通しをもって学びを深められるよう配慮されている。	表現及び鑑賞の各分野で身に付けるべき資質・能力と、それを取り扱う教材について整理することで、生徒と教師がねらいを共有して学びを深められるよう配慮されている。				

調査票1		種目名 (音楽 (一般))					
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)				
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	我が国の伝統音楽、郷土芸能や民謡などを取り上げ、生活や社会と音楽の学習がどのように関わっているかを感じ取れるよう工夫されている。	「生活や社会の中の音楽」で、学年に応じたテーマを設け、音や音楽、音楽文化について徐々に視野を広げて考えられるよう工夫されている。			
	3	内容と分量のバランスについて	ねらいに即して主要教材を精選し、学習を生かして比べる曲や巻末教材との関連を図ることにより、必要に応じて学びを深められるよう工夫されている。	ねらいに即した学習内容や関連教材が有機的に組織されており、各教材における学習内容の分量を実態に応じて弾力的に増減できるよう工夫されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	学習のヒントになる言葉がキャラクターの吹き出しを通して示されており、分かりやすさへの配慮がなされている。	学習を深めるポイントや問いかけが、キャラクターの吹き出しの形で示され、学習者に寄り添うよう工夫されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	楽器の写真や楽典が見開きページになっており、反復学習に活用でき、分かりやすさへの配慮がなされている。巻頭ページには楽曲のイメージ写真が掲載され、学びの手掛かりとなるよう工夫されている。	歌詞を写真の中に入れるときは、無地の部分に配置することで見やすさに配慮している。また、技能習得のためのイラストや楽曲の情景を写真を効果的に用い、イメージしやすいよう工夫されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次は「学びのユニット」が、3つの内容や主要教材で構成され、学習内容が見通せるように示されている。五線譜以外の様々な方法で、読譜がしやすいよう工夫されている。	目次は、各教材における学習活動の分量を実態に応じて弾力的に増減できるように工夫されている。五線譜以外の様々な方法で、読譜がしやすいよう工夫されている。			
	総合所見		学習内容を系統的に関わらせて資質・能力を身に付けられるよう、「学びのユニット」に、学習のねらいや手掛かりとなるヒントを簡潔にまとめ、教材の配列が工夫されている。 また、教材ごとの学びのねらいについて、比較等を通して音楽を形づくっている要素の働きを実感を伴って理解し、発展的な学びで既存の知識と新たな知識を結び付けることで、知識を再構築できるよう工夫されている。	学習内容を系統的に関わらせて、表現及び鑑賞の各分野で身に付けるべき資質・能力と、それを取り扱う教材について整理することで、生徒と教師がねらいを共有して学びを深められるよう配慮されている。 また、音楽を形づくっている要素や記号について、各教材の近くに表示することで音楽活動を通して学び、「深めよう」で、知識を音楽の働きと関わらせて身に付けられるよう工夫されている。			

調査票 1		種目名 (音楽 (器楽合奏))					
観点	項目・発行者名 (番号)	教出 (17)	教芸 (27)				
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	各題材の冒頭に学びのねらいを示し、音楽的な活動を通して実感を伴って理解させ、まとめの曲で既存の知識と新たな知識を結び付けることで、知識を再構築させるよう工夫されている。	音楽を形づくっている要素について、学ばせたい教材の近くに表示することで音楽活動を通して学びを促し、「深めよう」で、知識を音楽の働きと関わらせて身に付けられるよう工夫されている。			
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	「話し合おう」で、他者と協働しながら、表したい音楽表現について思いや意図をもつことができるよう配慮されている。	吹き出しで、考え方や伝え方を示すことで、他者と協働して音楽表現を工夫することができるよう配慮されている。			
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	吹き出しのアドバイスにより、見通しをもって学習内容を調整しながら、粘り強く取り組めるよう工夫されている。	演奏のコツを例示することで、見通しをもって学習内容を調整しながら粘り強く取り組めるよう工夫されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	教材ごとの冒頭にねらいを具体的に示し、何を学ぶかが明確になるよう工夫されている。	教材ごとのねらいを分かりやすく示し、何を学ぶかが明確になるよう工夫されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	演奏者のメッセージの記載により、礼儀などの道徳的諸価値について考えられるよう道徳科との関連に配慮されている。	各分野の専門家のメッセージにより、音楽に込められた思いや生き方に触れることで、特別活動との関連に配慮されている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	既習曲を用いて、系統性をもたせながら、基礎から発展的合奏まで、段階的に学習できるよう配慮されている。	取り扱う打楽器の数を増やし、生徒の実態に合わせて基礎から発展的合奏まで、段階的に学習できるよう配慮されている。			

調査票 1 種目名 (音楽 (器楽合奏))

観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)				
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	プロフェッショナルの演奏家の声を紹介し、器楽の学習と社会とのつながりを考えられるよう工夫されている。	ライブイベントや同世代の仲間たちの音楽活動を取り扱い、器楽の学習と社会とのつながりを考えられるよう工夫されている。			
	3	内容と分量のバランスについて	リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓等、豊富な楽曲が掲載されている。	リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八に加え、多数の打楽器の楽曲が掲載されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	楽器ごとに括られており、魅力、特徴、基本的な奏法や演奏の要点について分かりやすく示され、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	楽器ごとに括られおり、「Q&A」や「練習のポイント」により演奏上の要点が分かりやすく示され、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	楽器の種類や各部の名称、奏法、所作、姿勢について多くの写真、図を用いて具体的に解説している。「まなびリンク」により、動画や音声を学習に役立てられるよう工夫されている。	楽器の種類や各部の名称、奏法、所作、姿勢について多くの写真、図を用いて具体的に解説している。教材ページの右下にQRコードを掲載し、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次は楽器ごとに分けられ、奏法ごとに教材曲が配列されている。「合わせて演奏しよう」では多彩な楽譜が掲載されており、発展的な学習を進めることができるよう工夫されている。	「アンサンブル」では合奏曲が掲載され、多様な合奏ができるよう工夫されている。「楽器でMelody」では単旋律の楽曲が示され、発展的な学習ができるよう工夫されている。			
	総合 所見	既習曲を用いて、系統性をもたせながら、学習できるよう配慮されている。 また、各題材に学びのねらいを示し、音楽的な活動から実感を伴って理解させ、まとめの曲で新たな知識を結び付けることで、知識を再構築させるよう工夫されている。	生徒の実態に応じて基礎から発展的合奏まで学習できるよう配慮されている。 また、要素を教材の近くに表示することにより、音楽活動を通して学びを促し、さらに「深めよう」で、知識を音楽の働きと関わらせて身に付けられるよう工夫されている。				

調査票 1		種目名 (美術)				
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂(9)	光村(38)	日文(116)		
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	巻末に「学びの資料」として、表現や鑑賞の参考となる資料が示されている。題材ごとにQRコードが掲載されており、技法や道具の取扱いを説明するとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	巻末に「学習を支える資料」として授業に生かせる資料が示されている。QRコードが掲載されており、生徒作品や制作過程の動画を視聴することができ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	巻末に「学習を支える資料」として、美術と生活を関連付けて考えさせる資料が示されている。QRコードが掲載されており、作品や技法の動画を視聴できるなど、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	題材ごとに、授業の方向性を示す「学習のポイント」や発想や構想を深める「作者の言葉」を作品に添えるなど、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	発想や構想を促す手立てとして、「みんなの工夫」と題した生徒の制作過程をアイデアスケッチや活動の様子と併せて提示し、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	発想や構想を広げ深められるように、巻末資料として作家の発想方法を紹介したり、生徒作品に作者の言葉を添えたりして、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	巻頭に、「学びの地図」と題して美術の学習の意味や目的を考えさせる内容が掲載されている。また、各題材の目標を踏まえた視点が提示されており、主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫がされている。	巻頭に、3年間の美術の学習を見通すことができる内容を掲載されている。また、生徒が制作する過程の図版から、自分の表現の参考に生かすことができ、主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫がされている。	巻頭に、3年間の美術の学習の見通しをもたせたり、学習の意味を伝えたりする内容が掲載されている。また、題材ごとに「造形的な視点」が提示されており、主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫がされている。	
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	資質・能力の三つの柱に即した題材の目標が設定されている。各題材に鑑賞資料を豊富に掲載したり、生徒作品に作者の言葉として説明を添えたりすることで、言語活動の充実に配慮されている。	見方・考え方に関わる題材の目標が設定され、資質・能力の三つの柱が育まれるように工夫されている。鑑賞資料等に設定している「問い」の提示により、言語活動の充実に配慮されている。	資質・能力の三つの柱に即した題材の目標が設定されている。豊富な鑑賞資料と作者の言葉や生徒が活動している写真の提示、箱囲みの問いかけや視点を与える言葉により、言語活動の充実に配慮されている。	
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	他の教科との関連が、教科名と内容によって示されている。特に日本の美術文化を重点的に取り扱い、社会科と関連した題材が設定されている。	他の教科との関連が、コラムによって具体的に提示されている。他にも、キャリア教育や防災教育にも配慮された題材が設定されている。	道徳科との関連が、マークによって示されている。ESDの視点に立った題材や生活や社会との関連に配慮された題材が設定されている。	
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	2・3学年の内容が1冊にまとめられている。1学年では、基礎を学ぶ内容が掲載されており、2・3学年は、社会や伝統といった普遍的な価値に目を向けさせる構成になっている。複数の題材を関連付けて学習できるよう工夫されている。	2・3学年の内容が1冊にまとめられている。1学年は、基礎的な内容で構成され、2・3学年は、多様な美術表現を取り扱い、生活や社会の中の美術の働きが配列されている。また、複数の題材を関連付けて学習できるよう工夫されている。	発達段階に応じて学びが深まるように3冊に分かれており、題材が配列されており、基礎的な内容から社会に目を向けた内容の題材までが系統的に構成されている。複数の題材を関連付けて学習できるよう工夫されている。	

調査票1		種目名 (美術)					
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂(9)	光村(38)	日文(116)			
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	伝統工芸や公共の美術作品、全国の催事に関わる美術の例が多く掲載され、社会における美術の役割について取り上げられている。	季節と伝統文化を関連させた題材や地域に根差した題材が多く取り上げられ、その展開例も具体的に紹介されている。	日常生活や公共の場で見られる美術作品が多く掲載され、美術と社会、地域との関連を図った題材が取り上げられている。		
	3	内容と分量のバランスについて	1学年は、表現題材を中心に、2・3学年は鑑賞題材を中心に構成されている。表現と鑑賞の豊富な題材から指導計画が編成できるよう内容と分量のバランスについて配慮されている。	表現と鑑賞の一体化により、学習の深まりを重視した題材が配列されている。発達段階を踏まえた指導計画が編成できるよう内容と分量のバランスについて配慮されている。	生活や現代社会に生きる多様性のある題材が配列されている。各学年の発達段階を踏まえた指導計画が編成できるよう内容と分量のバランスについて配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	意味のまとまりごとに改行位置の工夫がされていたり、美術用語の解説を箱囲みで提示されているなど、多様な個性をもつ生徒にも学習の理解や深化が図られるよう配慮されている。	問いかけるような文章表現により、生徒の意欲を喚起するような工夫がされている。また、具体的で簡潔な表現が用いられていることから、学習の理解が図られるよう配慮されている。	生徒が理解しやすいような具体的な文章表記になっている。また、学習内容がイメージできるサブタイトルや生徒に問いかける文章表現など、学習の理解が図られるよう配慮されている。		
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	生徒が活動している写真や生徒作品等が見やすく構成され、生徒の思考を促すような工夫がされている。また、図版においては、少数派色覚の生徒にも配慮されている。	学習の様子や制作過程が伝わるよう豊富な図版が用いられている。また、再現性の高い紙質、実物大資料、ワークシートの導入など授業での活用にも配慮されている。	豊富な写真や図版が多数掲載され、フォントの使い方や余白の効果を用いて整然と構成されている。また、分かりやすいようにマーク等で表示され、見やすく配慮されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次に、題材名と分野がマークや色で分かりやすく分けられており、使いやすいう配慮されている。	目次に、題材名と領域など、内容についての情報が提示されており、使いやすいう配慮されている。	目次に、題材名と使用されている記号や分かりやすい凡例を提示し、使いやすいう配慮されている。		
	総合所見	基礎的学習から発展的学習まで、系統的に進めることができるような題材配列で構成されている。表現の楽しさを学ぶ内容から生活へと視点を広げ、美術の役割についても意識できるよう工夫されている。 また、作品に添えられた作者の言葉により、主体的な学習を促し、美術の創造活動の喜びを味わえるよう配慮されている。	表現と鑑賞を一体的に捉えて構成し、社会と関わる題材が系統的に配列されている。「みんなの工夫」と題した生徒の制作過程が掲載されており、生徒の発想や構想の参考になるよう工夫されている。 また、巻末の生活や社会に生かす美術の資料等から主体的な学習を促し、美術の創造活動の喜びを味わえるよう配慮されている。	各学年の発達段階に応じた題材の構成や、生活や社会とのつながりを考えた題材配列で構成されている。また、造形的な見方・考え方を捉える要素として題材の中に「造形的な視点」を設定していることや作品に添えられた作者の言葉により、生徒の主体的な学習を促し、美術の創造活動の喜びを味わえるよう配慮されている。			

調査票1		種目名 (技術・家庭 (技術分野))					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教図(6)	開隆堂(9)			
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	調査、観察、実験を中心とした問題解決的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能について習得できるよう配慮されている。	資料による学習や、製作などの活動を中心とした学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能について習得できるよう配慮されている。	調査、分析などの思考を中心とした問題解決的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能について習得できるよう配慮されている。		
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	各内容で技術の見方・考え方と最適化について分析した例を挙げて扱い、よりよい生活や社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。	各内容で写真や図、表を使いながら技術のプラス面とマイナス面を扱い、よりよい生活や社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。	各内容で技術の最適化と評価・改善について制約条件を挙げながら取り上げ、よりよい生活や社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。		
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各内容の冒頭で、技術の見方・考え方や最適化の身近な例、及び内容の構成を示すとともに、匠の取材を取り入れ、技術への関心を高めるよう工夫されている。	各内容の冒頭で、学習内容に関わる技術の発展例、及び章の構成を示すとともに、職人や研究者等の取材を取り入れ、技術への関心を高めるよう工夫されている。	各内容の冒頭で、技術の歴史年表及び学習の流れを提示し、技術の進歩に触れるとともに、見通しをもたせることで技術への関心を高めるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	様々な思考ツールを用いて問題解決的な学習を行い、活動の成果や評価、改善・修正について振り返る活動を通して、言語活動の充実が図られている。	題材に応じた問題解決的な学習を通して、課題について考え、学んだ成果や製品について振り返る活動を通して、言語活動の充実が図られている。	題材に応じた問題解決的な学習を通して、トレードオフや現代的課題について考え、話し合いで振り返る活動を通して、言語活動の充実が図られている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	各内容の冒頭、該当箇所に、学習に関連する小学校、及び他教科の単元名と履修学年が表記され、QRコードを活用し、他教科の教科書と技術に関する静止画や動画で学習できるよう工夫されている。また、防災教育、伝統文化教育との関連も図られている。	各内容を構成する章の冒頭で、学習に関連する小学校、及び他教科の教科名が表記されており、QRコードを活用して技術に関する静止画や動画で学習できるよう工夫されている。また、キャリア教育、伝統文化教育との関連も図られている。	各内容の冒頭、該当箇所に、学習に関連する小学校、及び他教科の単元名と履修学年が表記され、QRコードを活用し、技術に関する静止画や動画で学習できるよう工夫されている。また、防災教育、キャリア教育、伝統文化教育との関連も図られている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各内容とも「技術の原理・法則と仕組み、問題解決、社会の発展」の順で系統的に配列されるよう工夫されている。	各内容とも「つくって・育てて学ぼう、じっくり学ぼう、学びを深めていかそう」の順で系統的に配列されるよう工夫されている。	各内容とも「知識や技能を身に付ける、問題解決、学習したことを社会に生かす」の順で系統的に配列されるよう工夫されている。		

調査票1		種目名 (技術・家庭 (技術分野))			
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教図 (6)	開隆堂 (9)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	作物ごとに凡例、育成上のポイント、調理例、日本の伝統野菜などについて掲載し、学校や地域の気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。	作物ごとに作業時期、栽培方法、目標例、原産地などについて掲載し、学校や地域の気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。	作物ごとに凡例、育成上のポイント、用途、調理例などについて掲載し、学校や地域の気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。
	3	内容と分量のバランスについて	基本ページでは、「目標、始めの活動、まとめの活動」を見開きで配置し、バランスのとれた分量になるよう配慮されている。	紙面では「見つける、学ぶ、ふり返る」を配置し、文字サイズを上げバランスのとれた分量になるよう配慮されている。	紙面では「学習の目標、活動、ふり返り」を配置し、要点を押さえた記述でバランスのとれた分量になるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	折り込みのページでは、技術の見方・考え方が図示化されてイメージしやすく、専門用語はフォントを変えて解説され、分かりやすいように配慮されている。	専門用語が色や太字で、資料の参照先はマーカー処理で強調されている。資料の重要語句はフォントを大きくし、分かりやすいように配慮されている。	専門用語が太字で強調されている。キャラクターのセリフにより学習課題や思考のきっかけが示され、参考の解説も分かりやすいように配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	巻頭で各内容を比較しながら、技術の歴史に触れている。専門用語は作業手順と合わせて写真や図版等で解説され、分かりやすい表記への配慮がされている。	巻頭で各内容の技術の例に触れている。専門用語と作業手順が利用例と合わせて、写真や図版等で解説され、分かりやすい表記への配慮がされている。	巻頭で技術と生活、産業の発達に触れている。専門用語は、測定、製作の手順が写真や図版等で解説され、分かりやすい表記への配慮がされている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、辞典等の使いやすさへの配慮について	目次は各内容の三つの要素に従って表記され、巻末の索引に加えて用語解説のページを設け、専門用語の理解と、使いやすさに配慮されている。	目次は各内容の三つの要素に従って表記されている。挟み込み別冊のハンドブックで工具の使い方等を詳細に示して使いやすさに配慮されている。	目次で内容ごとに色分けして、各章の項目が表記されている。各内容においては三つの要素に従ってページが表記され、使いやすさに配慮されている。
	総合所見	各内容を三つの要素に沿った学習過程で構成し、技術の見方・考え方を働かせ最適化に着目した問題解決的な学習を中心としている。 また、調査、観察、実験、実習を通してよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。	資質・能力の三つの柱に沿った構成で、つくることを通じた豊富な実習題材による問題解決的な学習を中心としている。 また、別冊を含めた写真や図、表を基に学ぶことで、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。	各内容を大きく三つに分けて構成し、技術の最適化と評価・改善に基づく問題解決的な学習を中心としている。 また、調査、分析などの思考活動を通じた科学的な知見に基づき、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するよう配慮されている。	

調査票1		種目名 (技術・家庭 (家庭分野))					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教図(6)	開隆堂(9)			
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	「いつも確かめよう」で基礎的な技能の確認を、「まとめよう」で知識の定着をそれぞれ位置付け、知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	「やってみよう」で、重要語句を「キーワード」の欄に記したり、実習手順を簡潔な文で示したりし、知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。	「調理方法Q&A」で科学的根拠による知識を、「製作の基礎・基本」で技能の確認をそれぞれ位置付け、知識及び技能の習得ができるよう配慮されている。		
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	思考の場面によってキャラクターを活用し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて思考を深め、問題を解決する道筋が分かるよう工夫されている。	「学びを生かそう」で問題解決的な学習を明確にし、習得した知識及び技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。	学習のまとめりごとに「生活に生かそう」を設定し、習得した知識及び技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。		
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習内容に対して興味・関心や意欲を高められるよう、導入場面に「始めの活動」を設定し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	自分の現状を把握し、興味・関心が高められるように各章の「自立度チェック」の場面を設け、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	意欲を高められるように「わたしの興味・関心」で各内容に関連する見開きの写真を提示し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	吹き出し等で対話を表現したり、語りかけたりする場面が設けられており、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	活動の場面で具体的な内容が記載された「話し合ってみよう」が位置付けられ、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	学習のまとめりごとに「ふり返り」を文章で記述する欄が設けられており、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「他教科マーク」や、関連する教科書の紙面を見ることができる「Dマークコンテンツ」を掲載し、他教科との関連を意識できるよう工夫されている。	他教科や小学校、他の学習との関連を「リンクマーク」で示し、学習のつながりや見通しをもち、他教科との関連を意識できるよう工夫されている。	「他教科・他分野との関連マーク」で関連を示すとともに、既習内容を振り返る「小学校での学び」を掲載し、他教科や小学校との関連が工夫されている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	自立に関する「食生活」、「衣生活」、「住生活」と共生に関する「消費生活・環境」、「家族・家庭生活」の順に5編で配列されていると共に、リンクマークで関連するページを示し、内容を関連付けて学習できるよう工夫されている。	家庭分野の三つの内容「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費環境・環境」の順に配列されており、各章の最後に、「学びを生かそう」が例示され、学んだ知識・技能を生かしながら関連付けて実践できるよう工夫されている。	家庭分野の三つの内容「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費環境・環境」の順に配列されており、「先輩からのエール」の充実により、社会とのつながりやキャリア教育とも関連付けて学習できるよう工夫されている。		

調査票 1		種目名 (技術・家庭 (家庭分野))				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教図 (6)	開隆堂 (9)		
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	各地の郷土料理、地域に伝わる衣の文化例、各地の住まいの例等の事例を写真で取り上げて解説し、地域や社会との関連付けができるよう配慮されている。	年中行事と暮らしについて一覽で示すとともに、地域の食文化と和食の調理を連続して取り扱い、日本の良さや地域との関連付けができるよう配慮されている。	地域の特色ある伝統文化例や、災害への備えとして地域に多い自然災害の対策例を取り上げて扱い、地域や社会との関連付けができるよう配慮されている。	
	3	内容と分量のバランスについて	第1学年の最初に履修するガイダンスのページを充実させ、学習の仕方や3年間の学習内容を見通して学び続けることができるよう考慮されている。	各章末に設定された「学びを生かそう」で、知識及び技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等を養う活動が繰り返されるよう考慮されている。	持続可能な社会の構築に関わるページを各内容の終わりに設定し、横断的な視点をもって各内容との関連付けを意識できるよう考慮されている。	
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	「何を」、「どうして」、「どれくらい」などの問いかけをタイトルに用い、問題解決的な学習を効果的に進めることができるよう工夫されている。	「キーワード」チェック欄を設けたり、本文中の重要語句の色を変えて強調したりすることにより、学習内容の定着を図るよう工夫されている。	ページの最初に囲み枠を用いて「導入課題」を位置付け、意欲の喚起や実生活と関連付けを図りながら学習がスタートできるよう工夫されている。	
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	左利きの生徒に対応した資料や製作時に大きさを確認できる目盛りを実習例のページに掲載し、分かりやすいよう配慮されている。	見開き紙面に大判化した写真や資料を掲載したり、実習時の失敗例の写真を示したりし、課題が捉えやすいよう配慮されている。	見開きで実物大の写真や、調理実習材料表にアレルギー物質を掲載し、見やすく、安全に実習が進められるよう配慮されている。	
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末にコンテンツ一覧表があり、学習内容との関連が一目で捉えやすくなるよう工夫されている。	つめと上部の見出しの両方を合わせることでページの学習段階を確認できるよう工夫されている。	ページの下段に関連資料や補足説明を掲載し、学習を深めることができるよう工夫されている。	
	総合所見	学習を見通すガイダンスを充実させ、各学習内容との関連や問題を解決する道筋などを明示し、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう配慮されている。 さらに今日的な課題に対応する教材を巻末に特設し、家庭生活でも活用できるよう工夫されている。	豊富な画像とイラストの掲載で視覚的な資料を充実させ、家庭生活における場面を具体的に示し、主体的に学習に臨むことができるよう配慮されている。 さらに実習例や活動例を豊富に掲載し、問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。	見開きで1単位時間の学習内容を示しており、「導入課題」で学習意欲をもたせ、その後の学習活動や学習のゴールまで見通しがもてるよう配慮されている。 さらに科学的根拠に基づく説明や資料を掲載し、主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。		

調査票 1		種目名 (保健体育)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	大修館(50)	学研(224)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	学習の流れや方法を明示し、資料を用いながら考えることができるよう配慮されている。 学習全体を網羅する学習のまとめを設け、理解度を確かめながら習得できるよう工夫されている。	学習のねらいを明示し、簡潔な文章と資料を用いながら考えることができるよう配慮されている。 章末に学習のまとめを設け、基礎的な知識の習得を補完できるよう工夫されている。	コラムや事例を掲載し、基礎的な知識及び技能と関連付けて考えることができるよう配慮されている。 章のまとめに観点別の問いを設け、バランス良く習得が図られるよう工夫されている。	学習の目標が明示し、学習の各段階で考えたり話し合ったりすることができるよう配慮されている。 章のまとめに観点別の振り返りを設け、学習状況が把握しやすいよう工夫されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	習得した知識を活用する学習活動「活用する」を位置付けることで自分の意見をまとめ、話し合ったり、記述したりできるよう工夫されている。	習得した知識を活用する学習活動「学びを活かそう」を位置付けることで自分の意見をまとめ、話し合ったり、記述したりできるよう工夫されている。	習得した知識を活用する学習活動「学習のまとめ」を位置付けることで自分の意見をまとめ、話し合ったり、記入したりできるよう工夫されている。	習得した知識を活用する学習活動「まとめる・深める」を位置付けることで自分の意見をまとめ、話し合ったり、記述したりできるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	今日的な課題に関わる章末資料や読み物を示したり、デジタルコンテンツへのリンクを示したりすることで、興味・関心をもって主体的に取り組めるよう工夫されている。	トピックスやミニ知識を示したり、家庭や地域でも取り組める実践例を章末に示したりすることで、興味・関心をもって、主体的に取り組めるよう工夫されている。	課題を自分事として捉えられるような問いを設定したり、コラムや事例などの身近な課題を示したりすることで、興味・関心をもって、主体的に取り組めるよう工夫されている。	デジタルコンテンツへのリンクを示したり、「もっと広げる、深める」や「探求しよう」を設けたりすることで、興味・関心をもって、主体的に取り組めるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	導入やまとめの段階で、自分の体験や既習事項をもとに発表したり、話し合ったりする言語活動を設けることで、総合的に実践力を育成できるよう配慮されている。	導入やまとめの段階で、自分の体験をもとに発表したり、具体的な日常生活を想定して話し合ったりする言語活動を設けることで、効果的に実践力を育成できるよう配慮されている。	導入やまとめの段階で、多様な課題の把握方法を取り入れたり、身近な課題について話し合ったりする言語活動を設けることで、効果的に実践力を育成できるよう配慮されている。	導入、展開及びまとめの各学習段階で、話し合ったり、表現したり、記述したりする言語活動を設けることにより、多面的に実践力を育成できるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	関係する道徳の内容や偉人の紹介を掲載することで、道徳との関連が図られている。	国際大会や医療問題のトピックスを掲載することで、国際理解教育との関連が図られている。	関係する他の単元の概要やページを明記することで、保健分野と体育分野の関連が図られている。	社会で活躍する人のインタビューを掲載することで、キャリア教育との関連が図られている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	キーワードを付した明確な学習課題を示し、見通しをもって学習が行えるよう工夫されている。	各内容に対応する参考資料番号を付け、本文と資料を関係付けながら学習が行えるよう工夫されている。	章末に確認問題を配置し、観点別に学習の振り返りや学習達成度を評価しやすいよう工夫されている。	共生や多様性など今日的な課題に係る観点で単元を配列し、体系的な学習が行えるよう工夫されている。

調査票1		種目名 (保健体育)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	大修館(50)	学研(224)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	自分の住む地域に当ては めて考える内容を配置し、 身近な事柄と関連付けなが ら学習が行えるよう配慮さ れている。	地域の実情に応じた自然 災害の例などを取り上げ、 興味をもって意欲的に学習 が行えるよう配慮されてい る。	季節に応じた学校生活や 行事の写真や説明を取り上 げ、実生活と結び付けなが ら学習が行えるよう配慮さ れている。	地域の行事や地元出身者 の内容・写真を取り上げ、 親しみをもって意欲的に学 習が行えるよう配慮されて いる。
	3	内容と分量のバランスにつ いて	ストレス対処等、生活に 直結する課題を多く取り上 げ、実践的な学習が行える よう配慮されている。	学習内容に関連する資料 を多く取り上げ、根拠に基 づく科学的な学習が行える よう配慮されている。	コラムや特集資料を多く 取り上げ、思考を広げたり 活用したりする学習が行え るよう配慮されている。	熱中症やLGBT等の今日的 な課題を多く取り上げ、実 践につながる学習が行える よう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語 句や文章による表現につ いて	学習課題と関連するキー ワードを明確にし、本文と 資料の関係を文末に示すこ とで、理解しやすいよう配 慮されている。	日常生活の現象を「つか もう」で取り上げ、関連す る学習内容を簡潔に示すこ とで、興味・関心を喚起で きるよう配慮されている。	身近な問題をクイズ形式 で取り上げ、関連する資料 を示すことで、無理なく学 習が展開できるよう配慮さ れている。	学習課題をつかむための 方法や考え方を丁寧に示す ことで、要点を捉えながら 学習が展開できるよう配慮 されている。
	2	分かりやすさに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記につ いて	学習の流れが視覚的に捉 えられるよう構成し、図や 挿絵との関連で理解しやす いよう工夫されている。	説明文と資料の配置を統 一し、豊富な写真との関連 で学習しやすいよう工夫さ れている。	豊富な写真や学習の流れ に沿った資料を配置し、視 覚的に理解しやすいよう工 夫されている。	学習内容と関連した写真 や学習内容を簡潔にまとめ た図版など、学習しやすい よう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使いやすさへ の配慮について	目次には各学年の学習内 容を示し、巻末にはキー ワードの解説を入れるなど、 学習が効果的に進めら れるよう配慮されている。	目次には各章の系統性を 示し、章末には学習のまと めを表示するなど、計画的 に学習に取り組めるよう配 慮されている。	巻頭で「保健体育の学び 方」を示し、巻末には資料 の出展一覧を示すなど、主 体的に学習に取り組めるよ う配慮されている。	巻末にはキーワードで学 習内容を整理し、体育実技 や各教科との関連を示すな ど、使いやすいよう配慮さ れている。
	総合 所見	明確な学習課題を示すと ともに、身近な事柄との関 連で考察したり活用したり する学習を位置付け、実践 的に思考力・判断力・表現 力等を育むことができるよ う工夫されている。 また、学習の流れに沿っ て構成し、日常生活に関す る資料を示すことで、生徒 が主体的に学習に取り組め るよう配慮されている。	豊富な資料を掲載すると ともに、資料をもとに話し 合う学習を位置付け、効果 的に基礎的・基本的な学習 内容が身に付けられるよう 工夫されている。 また、学習内容を精選し て簡潔に表現し、日常生活 に関する資料を示すことで、 生徒が興味・関心を取り組 めるよう配慮されている。	学習内容を焦点化すると ともに、学習のまとめや振 り返りを位置付け、効果的 に基礎的・基本的な学習内 容が身に付けられるよう工 夫されている。 また、特集資料や事例、 読み物資料を豊富に取り入 れることで、生徒が今日的 な課題に対する興味・関心 を高めながら学習に取り組 めるよう配慮されている。	学習の流れを明確に示す とともに、各段階で多様な 言語活動を示し、多面的に 思考力・判断力・表現力等 を育むことができるよう工 夫されている。 また、系統性を重視した 構成にすることで、生徒が 今日的な課題に対して見通 しをもちながら主体的に学 習に取り組めるよう配慮さ れている。	

調査票1		種目名 (英語)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	必然性のある場面で、言語材料を繰り返すことにより、基礎的表現及びそれらを活用する技能を習得できるよう工夫されている。	様々な場面で基礎的な語彙や表現を導入し、繰り返し使うことにより、それらを活用する技能を習得できるよう工夫されている。	単元前半で身に付けた基礎的な知識及び技能を、単元後半の活動で活用することにより、それらを習得できるよう工夫されている。	一貫性のある繰り返しの中で、言語材料に多角的に触れることにより基本的な語彙や表現を習得できるよう工夫されている。	単元のゴールを見据え、既習事項をバランスよく活用することで、基本的な語彙や表現を習得できるよう工夫されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	単元、学期ごとに段階を踏んだ領域を統合する活動を設定し、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。	即興性と正確性のバランスに配慮し、領域を統合する活動により、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。	領域を統合した活動に思考を促す機会を設定することにより、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。	生徒の気付きを促し、対話的な学習に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。	単元、学期に領域を統合する活動に数多く取り組み、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各学年や単元のまとまりごとの領域別学習到達目標が明確に示され、振り返りを通して成果や課題を認識し、自己調整力を働かせながら主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	3年間の領域別学習到達目標が明確に示され、1年間の学習の流れも視覚的に分かりやすく示されており、学習者が見通しをもって、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	各学年に領域別学習到達目標が明確に示され、自己の課題を適切に認識するとともに、自律的な学習をサポートする資料により、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各学年に領域別学習到達目標が明確に示され、振り返りでの達成感につながるようにするとともに、課題に応じた学習法の提示により、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各学年の領域別学習到達目標や1年間の学習の流れ、英語の学び方のポイントの明示により、見通しと振り返りを繰り返しながら、主体的に学習に組めるよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	到達目標を意識しながら学習に臨めるよう、言語を使用する目的や場面、状況を明確にしなが、1つの技能に特化した小単元を設定するなど、言語活動の充実に配慮されている。	身の回りの場面から、社会的な話題まで取り扱い、既習事項を活用しながら豊かに自己表現できるよう、思考の流れに沿った活動を配置するなどの言語活動の工夫がなされている。	現実の使用場面に近い題材を設定し、目的や場面、状況に応じて、必要な情報や概要を捉えたり、自分事として考えた上で即興で伝え合うなど、言語活動の充実に配慮されている。	身の回りのことから、社会・世界へと広がる話題を取り扱い、明確な場面のもとでコミュニケーションを図る相手を意識して表現させるなど、言語活動の充実に配慮されている。	身の回りの場面から、社会的な話題まで取り扱い、各単元における到達目標を生徒に意識させながら、場面や目的に応じて自己表現が図られるような言語活動の充実に配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校外国語との接続に配慮し、理科教育、キャリア教育、主権者教育、人権教育、安全教育等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。	小学校外国語との接続に配慮し、伝統や文化、国際理解、環境教育、平和教育、人権教育等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。	小学校外国語との接続に配慮し、社会参画、安全教育、伝統や文化、環境教育、平和教育等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。	小学校外国語との接続に配慮し、人権教育、平和教育、伝統や文化、国際理解、社会参画等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。	小学校外国語との接続に配慮し、キャリア教育、伝統文化、国際理解、社会参画、人権教育等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	前学年とのつながりや目的や場面、状況を意識した構成により、基礎的活動から発展的な活動へと螺旋的・継続的に学習が展開されるよう工夫されている。	各単元に絵や写真を基に話したり即興でのやりとりを行ったりする活動が配置され、3年間の到達目標に向けて学習が積み重ねられるよう工夫されている。	基本的な知識及び技能の習得から活用を経て学びを振り返るまでの過程が分かりやすく構成されており、豊かな言語活動に取り組めるよう工夫されている。	複数の単元で学んだことを総合的に活用して取り組む課題を中心として構成されており、生徒が意欲的に学ぶことができるよう工夫されている。	3年間の到達目標を見通しながら、各学年、単元の目標となる言語活動を少しずつ発展させる構成で、自律的な学習へとつながるよう工夫されている。

調査票1		種目名 (英語)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	季節に関連した題材や身近な日本の文化に関連した題材を通じて、意欲的に学ぶことができるよう配慮されている。	日本固有の文化や歴史についての考えを深め、他国の人々へも発信する言語活動につながるよう配慮されている。	日本の伝統文化や季節に関する題材を通じて他国との文化の違いに気付き、意欲的な学習を促すよう配慮されている。	他国の習慣や文化を知ることを通じ自分の地域についても考えながら意欲的に学習できるよう配慮されている。	季節感のある教材や生活に関連した題材による言語活動を通じ、意欲的に学習できるよう配慮されている。
	3	内容と分量のバランスについて	各単元の目的や場面、状況を意識した領域のバランスのとれた活動により、目指す資質・能力を育成できるよう配慮されている。	各単元における目標に向け領域のバランスのとれた言語活動を配置し、目指す資質・能力を育成できるよう配慮されている。	各単元ともに、目標に向けて段階的に言語活動を行うよう構成し、目指す資質・能力を育成できるよう配慮されている。	多様な題材により各領域の言語活動をバランスよく行うことで目指す資質・能力を育成することができるよう配慮されている。	実際の場面・状況に即し、領域のバランスのとれた言語活動を配置し、目指す資質・能力を育成できるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	各単元に文法事項や実際のコミュニケーションを支える文のきまりについての頁を配し、理解しやすいよう配慮されている。	各単元に文法事項等をまとめ、使い方や文の形、活用場面を併せて示すことで、理解しやすいよう配慮されている。	各単元に表現のもつイメージ図とともに文法事項を配し、効果的に文法事項や文構造を理解しやすいよう配慮されている。	各単元に英語のしくみの項を配し、基本文の重要な箇所を強調することで理解しやすいように配慮されている。	複数単元終了後や巻末に文法事項をまとめ、場面と意味、文の形、文構造を示し、理解しやすいように配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	小学校との関連を示す記号や活動のヒントを吹き出しで示すなど、分かりやすさに配慮されている。	人物のイラストを発話の冒頭に示したり、吹き出しで説明を加えるなど、分かりやすさに配慮されている。	小学校との関連を示す記号や吹き出しを使って理解を促すなど、分かりやすさに配慮されている。	活動内容の補足説明や文法の説明を吹き出しで示すなど、分かりやすさに配慮されている。	思考を促す補助発問や文法の説明を吹き出しで示すなど、分かりやすさに配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末に小学校の既習単語や身の回りの単語をイラストと併せて配し、使いやすさに配慮されている。	巻末に小学校の既習単語や表現につながる単語をカテゴリ別に配し、使いやすさに配慮されている。	巻末に身の回りのことについての単語をカテゴリ別に配し、使いやすさに配慮されている。	巻末にカテゴリ別の単語リストや応答例を示すなど、使いやすさに配慮されている。	巻末に語のイメージ図や表現活動につながる単語リストを配し、使いやすさに配慮されている。
	総合所見	目的や場面、状況の中で基礎的スキルを身に付け、段階を踏んで複数の領域を統合した活動に取り組むことを通じて、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、各学年及び単元のまとめりごとの領域別学習到達目標が明確に示され、振り返りを通して成果や課題を認識しながら、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	様々な場面で基礎的な語彙や表現を身に付け、即興性と正確性のバランスに配慮しながら領域を統合した活動を行うことで、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、3年間の領域別学習到達目標が明確に示され、1年間の学習の流れも分かりやすく示されており、学習者が見通しをもって、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	単元を通して、活用を繰り返しながら基礎的スキルを身に付けるとともに、領域を統合した思考を伴う活動に取り組むことで、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、学年ごとに領域別学習到達目標が明確に示されており、自律的学習を支える教材とともに活用することで、課題に応じて主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	一貫性のある繰り返しで基礎的スキルを身に付けさせるとともに、気付きを促しながら、領域を統合した活動を行うことで、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、学年ごとの領域別学習到達目標とともに、発達段階に応じた英語学習法を提示するなど、学校での学習以外においても、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	単元のゴールを見据え、活用しながら基礎的スキルを身に付け、領域を統合した活動に数多く取り組むことを通じて、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、学年ごとの領域別学習到達目標や1年間の学習の流れを示したり、発達段階における英語の学び方を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (英語)					
観点	項目・発行者名(番号)	啓林館(61)					
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	身近な場面の中で各領域の活動をバランスよく繰り返すことで、基本的な語彙や表現を習得できるよう工夫されている。				
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	単元ごとに自己表現する活動を位置付けることにより、思考力・判断力・表現力等を育成するよう工夫されている。				
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	3年間の領域別学習到達目標だけでなく、各単元のパートごとの学習到達目標が明確に示されており、課題や達成度を振り返りながら、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。				
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	中学生にとって身近で興味深い題材の設定により、自分事として捉え考えるように工夫されており、読んだことを基に英語で表現するなど、言語活動の充実に配慮されている。				
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校外国語科との接続に配慮し、インクルーシブ教育、キャリア教育、伝統や文化、国際理解、平和教育等に関わる題材を扱い、他の教科・領域や特別の教科道徳等との関連に配慮されている。				
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各単元で学んだことを活用する総合的活動を配置し、到達目標に向けて段階的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。				

調査票1		種目名 (英語)				
観点	項目・発行者名(番号)		啓林館(61)			
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	地域の文化や歴史、地域の活性化について考える教材により、生徒が意欲的に思考できるよう配慮されている。			
	3	内容と分量のバランスについて	目標に向かって領域のバランスのとれた言語活動を段階的に示し、目指す資質・能力を育成できるよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	各単元に英語のしくみの頁を配し、基本文の重要な箇所を強調して示すなど、理解しやすいよう配慮されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	活動内容の補足説明や思考を促す補助質問を吹き出しで示すなど、分かりやすさに配慮されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末に単元別にカテゴリごとの単語リストと例文を併せて示し、使いやすさに配慮されている。			
	総合所見		複数の領域をバランスよく繰り返しながら基礎的技術を身に付け、単元ごとの自己表現活動に取り組むことを通して、コミュニケーション能力が育成されるよう工夫されている。 また、年間の領域別学習到達目標だけでなく、各単元のパートごとの学習到達目標が明確に示されており、課題を意識しながら主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。			

調査票 1		種目名 (道徳)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	学研(224)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	教材冒頭でテーマを設定することにより、学習する内容項目を明確に示し、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	教材末の「学びの道しるべ」で内容項目への自我関与を促すことにより、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	関連性の深い内容項目を連続して学習することにより、様々な問題場面における道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	巻頭のオリエンテーションで内容項目や学習方法を明らかに示すことにより、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	学年を追って視野が広がる内容項目を重点化することにより、系統的・段階的に道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	多様な意見の交流を通して問題解決を図る教材を配置することにより、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。	多様な考えを交流し合う中で考えを深めていく学習を例示することにより、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。	教材末に設けた「見方を変えて」に視点を変えた問いを示すことにより、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。	別冊に自分の考えの他に話合いで得られた意見を書く欄を設けることにより、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。	主題を明示せずに個々の多様な視点からの問題意識を喚起することにより、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	巻頭のオリエンテーションにおいて、授業の流れを示すことにより、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	教材冒頭に示した価値へ方向付ける発問により問題意識をもたせ、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	教材末の「考えよう」において、考えを深める視点を示すことにより、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	自分の生き方を考えさせる「自分にプラスワン」を位置付け、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	教材冒頭に教材の内容にいざなうキーフレーズを示すことにより、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	「話し合いの手引き」や思考ツールを示すことにより、言語活動の充実を図りねらいに迫ることができるよう配慮されている。	教材の特性に応じた話し合いの視点を示すことにより、言語活動の充実を図りねらいに迫ることができるよう配慮されている。	役割演技や生活に生きるコラムによる体験的な学習により、言語活動の充実を図りねらいに迫ることができるよう配慮されている。	自分の考えや話し合ったことを書く活動を重視した言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	多様な考えと自分の考えを話し合いを通して比較する言語活動により、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	教材冒頭の右下に他教科との関連をマークで表すことで、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	発達の段階に応じ、系統的に教材を配置することにより、他学年とのつながりをもった学習ができるよう配慮されている。	教材末に、他教科や領域で学習する内容の関連等を示し、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	現代的・社会的な課題について各学年で複数取り上げることで、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	教材末に、異なる視点から学ぶ関連情報を示すことにより、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	生命尊重を重点とした重要項目はユニットを組み、その他の教材も偏りなく繰り返し学習できるように配列されている。	重点化されているいじめや差別問題に関わる内容項目をユニット化し、内容項目の関わりを図った学習が展開できるように配列されている。	生徒の学校生活と発達段階を踏まえ、教材を三つの「シーズン」に区切り、その時期に必要な学びができるように配列されている。	教材とコラムを組み合わせたユニットを複数回位置付け、いじめについて集中的かつ継続的に学習できるように配列させている。	発達段階を考慮し、学年ごとに特定の内容項目を連動させ、よりよい生き方について考えることができるように配列されている。

調査票 1		種目名 (道徳)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	学研(224)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	郷土の発展を支える人物や伝統・文化などについて考える教材を取り上げ、地域に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。	各都道府県にゆかりのある人物とその言葉を取り上げ、郷土への関心が高めながら学習できるよう工夫されている。	巻末で日本各地の伝統文化や世界遺産、先人の偉業を紹介することにより、郷土への関心が高まるよう工夫されている。	様々な地域における伝統文化に関する教材を位置付け、郷土への関心が高めながら学習できるよう工夫されている。	日本各地の行事を紹介するとともに、防災教育に関する教材を位置付け、郷土に関心が高まるよう工夫されている。
	3	内容と分量のバランスについて	全学年35時間分の教材に加えて補充教材5教材を配置し、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年本編の30教材に加えて補充教材5教材を配置し、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年31教材に加えて付録教材として4教材を配置し、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年35教材で、重点項目は複数教材をユニットにし、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年35教材で、重点項目に関わり2~7教材を配置し、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	中学生にとって親しみやすい口語体の教材を取り入れることにより、読みやすくなるよう配慮されている。	初出の常用漢字と固有名詞に振り仮名を付けることにより、読みやすくなるよう配慮されている。	身近な問題を題材にした教材を掲載し自身の生活を振り返りながら、読みやすくなるよう配慮されている。	教材名の下に登場人物のイラスト等を載せるなど、教材の内容が理解しやすくなるよう配慮されている。	脚注を多く使い、学習内容を深める補助的な資料を充実させ、読みやすくなるよう配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	見開きページを生かし、写真などを大きく掲載するなど、表記の工夫がされている。	行間が広めで、文字、挿絵、写真等をゆったりと配置するなど、表記の工夫がされている。	登場人物の心情の移り変わりを、挿絵の背景色の変化で表すなど、表記の工夫がされている。	目次に学習の方法をマークで例示し、学習活動の充実を促すなど、表記の工夫がされている。	写真やイラスト、グラフ等の補足資料や全文漫画の教材を掲載するなど、表記の工夫がされている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	画像や動画などのデジタルコンテンツは、教材の補足資料として、使いやすくなるよう配慮されている。	教材に「まなびリンク」の印を付けることで、リンク先の情報を使いやすくなるよう配慮されている。	教材を通して学習する内容項目を冒頭に明示して可視化することで、使いやすくなるよう配慮されている。	全ての教材が右ページから始まるよう紙面が構成されることにより、使いやすくなるよう配慮されている。	テーマごとに教材が紹介され、テーマに沿った学習を行う際に、使いやすくなるよう配慮されている。
	総合所見	巻頭の「話し合いの手引き」を基に議論の方法を示すことで、問題場面における充実した話し合いを促し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、巻末付録の「心情円」などで個々の心情の可視化を図ることにより、よりよく生きることについて自分の考えが深まるよう配慮されている。	教材冒頭に道徳的価値へ方向付ける発問を示すことで、見通しをもった学習を促し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、重点化されているテーマの教材を連続して取り扱うことにより、他者としてよりよく生きる大切さを学ぶことができるよう配慮されている。	教材末の「見方を変えて」において、視点を変えた問いを示し、考えを深めることにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、三つの「シーズン」に基づいた教材をユニットで構成することで、よりよい生き方について考え、共に学び合うことができるよう配慮されている。	話し合ったことを別冊に書く活動により、多様な考えを受け入れ、自分の考えを深める活動を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、道徳的価値に関わり自分の生活を振り返る「自分にプラスワン」を通して、主体的に学びを深めることができるよう配慮されている。	主題名の扱いに配慮し、冒頭のキーフレーズを効果的に示すことで、生徒の主体的で対話的な学習を促し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、学びが深まる特設ページ等の活用による多様な学習展開を通して、生徒の学ぶ意欲が質的に高まるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (道徳)					
観点	項目・発行者名(番号)	廣あかつき(232)	日科(233)				
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	別冊において各学年の発達段階に応じた表現で内容項目を端的に解説し、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	3年間を通して内容項目のつながりがある教材を学習することで系統的に道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。			
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	各教材の「考える・話し合う」の中に交流の手がかりを示すことで、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。	価値観や考え方の多様性を互いに受け入れられる教材によって、物事を多面的・多角的に考える力の育成につながるよう工夫されている。			
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	自分自身について振り返る活動を全教材に位置付けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	身近な問題を題材とした書下ろし教材を多く取り入れることで、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	自己を見つめ、考えたことを記述する活動に重点を置いた言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	生徒の多様な考えを引き出しながら、話し合いを深める言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	巻末で、道徳で学習する内容と他教科との関連を示すことで、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	発達段階と学年間の連続性と系統性を意図した教材を扱うことで、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。			
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	教科書と別冊それぞれにおいて、生命尊重、いじめ防止等の教材を取り上げ、多様な学習ができるよう配列されている。	学習指導要領の内容項目順に教材が配置されており、各地域、各学校の特色によって指導できるよう配列されている。			

調査票1		種目名 (道徳)				
観点	項目・発行者名(番号)	廣あかつき(232)	日科(233)			
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	日本の伝統文化を扱った教材を通して、郷土に対する興味・関心を高めながら学習できるよう工夫されている。	伝統文化や各地に伝わる行事に関する教材を通して、郷土に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。		
	3	内容と分量のバランスについて	授業時数に対応した全学年35教材を配置し、学校が柔軟に教材を扱うことができるよう、内容と分量のバランスに配慮している。	全学年37教材を内容項目順に配置し、学校が柔軟に教材を扱うことができるよう、内容と分量のバランスに配慮している。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	未習の漢字には初出のみならず、全てに振り仮名が付けられ、読みやすくなるよう配慮されている。	会話を多く取り入れ、登場人物の心情や場面状況の把握を促し、読みやすくなるよう配慮されている。		
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	文字サイズ、文字間や行間、余白などが統一され、読みやすくなるような表記の工夫がされている。	脚注に写真や豊富な解説文を記載することで、分かりやすくなるような表記の工夫がされている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	各教材の冒頭に別冊の該当ページを示し、教科書と併用して、使いやすくなるよう配慮されている。	内容項目別目次とし、生徒がねらいを意識して学習する上で、使いやすくなるよう配慮されている。		
	総合所見		「考える・話し合う」を各教材末に配置することで、物事を多面的・多角的に考える力の育成を促すとともに、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、授業と別冊ノートを連動させた授業展開により、道徳的価値の理解を深めることができるよう配慮されている。	価値観や考え方の多様性を互いに受け入れられる教材を基にした言語活動を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。 また、学習指導要領の内容項目順に教材が配列されていることで、生徒や学校の実態を考慮して重点的に指導を行うことができるよう配慮されている。		